

いきいきピンポンの会

世話役 村瀬 康夫

設立の趣旨

卓球は、狭いコートで細かい動きをすること
で俊敏性を養い、全身を鍛え、脳を活性化する
効果があり、認知症及びロコモティブシンドロ
ーム症候群を予防する効果があります。

いきいき会のテーマである一生勉強、一生感
動、一生青春をいかに長く続けるかという観点
から、私自身も卓球クラブに通っていますが、
少しでも、皆さんのお役に立てたらと思い、い
きいきピンポンの会を設立させていただきま
した。

活動方法

月3回、福井市営体育館にて、いきいきピン
ポンの会を開いています。まず、全員で、卓球
台を準備した後、準備運動で体を慣らしてから、
卓球を始めます。実施時間は毎回3時間ですが、
各々の体調を考慮し、適度な休憩、水分補給な
ど体調管理しています。活動開始前後には血圧
を各自が測定しております。

参加者にはかなりのレベル差があるので、上
手な人が、初心者を指導したり、順番に組み合
わせを変えたり、同じようなレベルの人同士の
組み合わせにしたりなど、いろいろと組み合わせ
を変えながら、練習に励んでいます。

終了時には、また全員で整備体操を行い、後
始末、床の清掃を行っています。

費用

1回300円の参加費を頂いております。自
宅から体育館までの往復時、体育館での事故に
対しての傷害保険を含みます。

活動実績

平成26年7月3日に第1回の活動を行いま
したが僅か9名の参加でした。当初は月1回だ
けの活動でした。しかし、1回だけでは少ない
という参加者の要望により、9回目からは月2
回、更に32回目からは月3回の活動を行うこと
にしました。

平成28年6月9日が42回目の活動となり参
加延べ人数は869名となりました。42回に至
るまでには体育館での意見交換会、福井保健セ
ンターの保健師さんに体育館まで来て頂き、元
気体操21のご指導をお願いもしました。

43回目にはスカットランド九頭竜にて、卓球
などの運動、入浴、バーベキューを楽しみまし
た。

世話役としての感想

先ずは参加者の皆様には高齢にもかかわら
ず熱心に参加されることに敬服いたします。通
算42回という活動の期間（2年間）、昔少々卓
球をやったことがある方、また初めてラケット
を握られた方など様々です。ご夫婦での参加も
3組いらっしゃいます。体育館に足を運び3時
間の活動のなか和気あいあいに歓声をあげ休
憩時間には、アイスコーヒーなどで一服後、

色々な話で盛り上がっています。

当初はどんなやり方で皆さんに卓球（ピンポ
ン）を楽しんで頂くか分かりませんでした。が、
基本的なラケットの握り方、振り方と腰を落と
す指導しましたところ、数回通っているうちに
見事に相手のコートにボールが入るようにな
り、ラリーも続くようにあり、皆さんの上達ぶ
りには感心させられました。





当初は貸出用として数個のラケットを用意しましたが、今ではマイラケットをお持ちになり、殆ど貸出用は無用となっていました。これも皆さんの熱意の表れかと思えます。無理なく怪我なく、今後も活動を続ける予定をしております。設立趣旨でも述べましたようにこのサークル本来の目標は健康長寿を第一に、「自分のことは自分でできる」いつまでもそうありたいと願う次第です。

参加者の声

橋本 悦子

一昨年ピンポンの会へおそるおそる「全くの初心者で、ラケットも持っていないのですが…」とお電話しましたところ、やさしい声でみんな初心者の方ばかりです。どうぞ!!。あれからこれこれ一年が経とうとしています。

もう楽しくて。相手の方に迷惑をかけながらも、ラリーが10回ほど続くと本当にうれしくて、楽しくてお互いにニッコリ。笑顔になり、汗びっしょりになり、楽しんでおります。

林 豊二

小学生の頃覚えたピンポン。昔を思い出しながら体調維持のため参加しました。時には足がもつれ、ひっくり返りますが、柔道の受け身で怪我をしないよう注意して頑張っています。

井上 清一

ピンポンへ出かける日は朝から楽しいです。雨が降らない日はできるだけ自転車で出かけています。いつも受付をやっていたいる最長老濱田さんが自転車愛用者ですから、私も負けるわけにはいきません。練習時間は3時間もあるので、前半頑張りすぎると、帰りの自転車がふらつきます。お世話いただいている村瀬

さんには感謝、感謝です。会場の予約取りはいつも大変だと思えます。それから、いつも美味しい飲み物とお菓子を準備していただいている皆様にも感謝いたします。

これからもよろしくお願いいたします。

増永 一夫

自分なりに出来ること、精一杯楽しめる絶頂感、汗にまぎれながらも素早く動かすラケットさばきと、足の動きの軽やかさには、皆さん年齢差を全く感じません。プレーが始まると自然と声が出て、気合も入り、熱意も高まります。相手方と呼吸も合って持ち前の力を十二分に出しきれて「超」楽しいです。時には気遣いや、カバーしあい、珍プレーや笑いありで、疲労も全く感じません。つまずきながらも粘り強さと格好よさ、一歩一歩上達するように頑張り、身体動く限り続ける所存です。

林 智恵子

ラケットを持ったのは65年ぶり。もう少し上手に出来ると思っていたのに、本当にピンポンでした。笑い、汗をかき、走り、一時の休みの時のおしゃべり、すべてが楽しく、スカッとして帰ります。

大野 勉

卓球ではなく「ピンポン」というのがいい。
「ラケットを初めて持つ人もどうぞ」と呼びかけているようで、なんとなく近づき易いのである。現に「全くの素人で・・・」と言って入ってくる方もおられるが、初めてラケットを持つという割には上達の早いのには舌を卷きます。活動は和気藹々と、時には露骨に負けじ魂をむき出しにしながら楽しんでいきます。

無記名

福井市体育館を利用させてもらってピンポンが出来るなんて最高です。60年ぶりに若返ったような気がします。楽しくプレーしましょう。



おしゃべりランチ会

世話役 井上 清一

設立の趣旨

ランチを二人で頂くと美味しさが二倍になります。三人で頂くと三倍になります。しからば、もつとたくさんで頂くと何倍美味しくなるかを実験してみようとこのランチ会は始まりました。アオッサの7階の研修室がランチ会当日は展望台付き高級レストランに変身します。この会もおかげさまで、丸2年続いています。そして、毎回40名前後の参加をいただいています。

この会のお世話をさせて頂くときに、二つだけ私のこだわりがあります。一つ目は、座席はくじ引きで決めることです。仲のよい方と隣り合わせだと話も弾み楽しいかと思えます。しかし、偶然に隣り合わせた方とお話をしてほしいと願っているのです。この場合は、話が弾みそうな話題をまず見つける必要があります。「そんな面倒なことを！」と言わず、ここはチャンスと頭に刺激を与えてほしいのです。お帰りの時には、きつと身も心も若返っていますよ。

二つ目のこだわりは、胸に名札を付けてもらうことです。もう二年近くも続けていますから常連の皆さんは、名前も半分以上は覚えていただいていると思うのですが、名札は、やはり続けたいと思っています。これは初めて参加される方への配慮なのです。たとえ常連の方であつ

ても、初めて来られる方へ、「ようこそ！」と言う歓迎のメッセージを伝えてほしいのです。福井は都会と違って人の出入りが少ない土地です。明治維新から一五〇年も経っているのに、福井の人口は50%も増えていません。従って、いつも会うのは知り合いばかりです。新しく来られた方への配慮がとても少ない土地柄だと感じています。

胸に名札を付けると素敵なお召し物にシミが付くかもしれませんが、是非お許しください。福井人の心意気を示してほしいと願っています。

活動の方法

月一回第三週目の火曜日か木曜日に開いています。参加の仕方は予約から始まります。定例会などの、皆さんが集まる日に、申込用紙を回覧し、名前を記入してもらっています。その時に電話番号も書いてもらいます。これは事前連絡や当日連絡などに使われます。または、メールか電話での申し込みも可能です。参加費用は当日支払っていただきます。食事とコーヒードー一〇〇〇円をお願いをしています。当日欠席されますと、準備した食事が残ってしまいます。厳しいですが、後日欠席された方には一〇〇〇円を支払っていただいています。

この会は2014年8月から2年も続いていますが一番大変な仕事は会場の予約です。会場予約は三か月前から受付が始まります。従って、予約したい日の三か月前の当日の朝9時き

つかりに予約の電話を入れなければなりません。この予約をずっとやっていただいているのが、福井会長です。予約申し込みを忘れないようにと、申し込み日が近づくときぞや緊張が続くのではないかと思います。福井会長は、「大丈夫、大丈夫！」と平静を装っておられます。それから、ランチ会の数日前になると、予約確認の電話を福井会長がされています。私たちの記憶力の衰えを福井会長の電話確認行動が支えています。

まだありますよ。当日のテーブルのセティングと受付です。そして、終了後の座席を元に戻す作業があります。この作業が終わると、アオッサの事務方の点検があります。テーブル配置、ホワイトボードや床の清掃などもチェックを受けます。

いつもお世話頂いている、濱田さん、片山さん、中野さん、松島さんに感謝を伝えたいと思います。特に、濱田さんは94才のご高齢にもかかわらず、重い机や椅子を運んでいただいています。

活動実績

おしゃべりランチの記念すべき第1回目は、2014年8月19日に始まりました。参加者は33人でした。女性18名、男性15名でした。会場の3人用長机を向かい合わせて、6人用のテーブルを六組用意します。これで、36人用の会場が準備できます。この数を越えようと、両サイドに椅子を並べます。最大48人の会場を作るこ

とができます。

第一回目のランチ会で話された話題を紹介
します。

- ① 麻雀とクルージングで盛り上がる。
- ② ボケない生き方
- ③ 卓球
- ④ 甲子園の高校野球 福井、石川、富山、
新潟の代表が頑張っています。
- ⑤ 健康と散歩
- ⑥ 男・女・本能（次回はこのグループに是非
入りたいですね。）
- ⑦ 記憶力強化の自己紹介法
- ⑧ 心配事相談（自分の悩みを披露し、みんな
で解決法を考える。）
- ⑨ カラオケ
- ⑩ 旅行
- ⑪ 生きざま、生い立ち、仕事

申し込み方法として、会費も添えて申し込ん
ではどうかとの意見もあり、一度だけ試みまし
たが、預かったお金を一か月間持ち歩く緊張感
よりは、当日支払い方式で、果たして忘れずに
来られるかどうかの短時間の緊張感の方がよ
いこととなり、その後はずっと当日払い方式を
採っています。

食事は通常お弁当形式ですが、数回ビュッフ
エ形式にしたこともあります。例えば、6人席
には6つのハンバーグが同じ皿に盛られてい
ます。サラダ等は一つの山盛りとなつて提供さ
れます。このような場合、うかうかしていると

自分の分が残っていないという絶望的状
況が発生するかもしれません。ある種
の緊張感が漂うようです。果たして、
こんなセコイ理由ではなかったと思わ
れますが、元のお弁当形式に落ち着い
たというエピソードも残っています。



参加者の声

木下 みき

私はいきいき会へ入会して本当によかったです。食事は皆んなとワイワイ言いながらするのが楽しく、おしゃべりランチは月一回ですが、その一回が待ち遠しくなります。役員の方々のおかげです。日帰り旅行にも行けて人生が素晴らしいものになりました。元気な間はできるだけ参加したいと思います。これからもよろしくお願いします

浅野 幸子

おしゃべりランチは、いろんな人達と同席して、楽しく食事が出来て、それに井上さんのお話も魅力的で出来る限り出席したいと思います。

澤崎 和子

初めておしゃべりランチに参加しました。知人が無く、不安でしたが同じテーブルの皆さんと気易くお話し出来て音楽鑑賞にも誘っていただき、私も主人の遺品からレコード盤を持参して、ゆとりのある人生をエンジョイしたいと思います。いきいき会に入会して本当に良かったです。

宮崎 照栄

楽しくお話をしながら昼食をいただく「おしゃべりランチ」もとても楽しみです。これからもよろしく願います。

増永 一夫

昼時のお食事ランチの会場に着くなり、テーブルの席に座るクジ引きが手渡される。テーブルを囲み食事を楽しむ仲間同士の”掟”。隣と隣にどなたが座られるのか興味津々の場面でもありますよネ。全員皆さんがそろった頃、取って置きの話がまた面白く、愉快なこと。「やがて」運ばれてくる食事のメニューが、私は何よりも気になります。会話も弾み、食事も進み、皆さんと大勢の中で時間を忘れるパーティのようなにぎやかさとなごやかさは、此処でしか味わえない雰囲気でしょうね。「来月はもっと豪華かな!」

小林 久子

抽選により番号の席へ何のためらいもなく着くことが出来気軽に大変ありがたい。同席の方々と自己紹介の中で思いがけない情報などを知ることが出来、学習につながっている。話が弾んでくると食事が二倍、三倍にいいと

感じられる不思議さ。逆にどんな上等な料理でも話がまずいと毒のような食になりそう。何を食しても「おいしい」と思う心でありたい。「一晩におはなし盛られ好き味に」

片山 弘敏

おしゃべりランチの日の朝10時33分(鯖江駅発)の列車に乗り福井駅へ、そして、アオッサをめざし急ぎます。月2〜3回福井へ行きますが、鯖江とずいぶん雰囲気違います。そして、四季折々の流れが変わり頭の回転が少し良くなり見る目も変わっていきます。会場に着くとすぐに濱田さんと準備に取り掛かります。濱田さんは、いつも受付を担当してください。ところで、その出席者のほとんどの名前を憶えておられていつもびっくりしています。そしてお弁当が出るまでの20分ほど、井上さんが色々な勉強になる事柄や、体験談等をお話いただき、毎回楽しく面白く聞かせていただいています。井上さんは、ソフトで知識の豊富な人だなあと出席者と話しています。座席はくじ引きで決めていますので毎回対面する人が変わりますので、色々な話ができて楽しいおしゃべりランチ会です。ありがとうございます。また宜しく。

カラオケうた会

代表世話役 吉岡 芳夫

設立の趣旨..

好きな歌を歌って健康を保つ。
歌を上手に歌えるようにしたい。
仲間と一緒に人生を楽しもう。

カラオケは、今や国民の代表的な趣味になっている。お腹から声を出して歌うことは、健康にもよく、新曲を覚えることは、ボケ防止にも効果がある。福井いきいき会にも、歌が好きな会員がたくさんいる筈である。そこで、集まって歌を歌う会として、サークル活動「カラオケうた会」を始めることにしたい。歌好きの友達もたくさんできるであろう。

実施方法

開催..月1回、第3木曜日の
午後1時~4時半、

人数..13人程度

場所..シダックス米松店

費用..実費(一回約1000円)

方法..各自、好きな曲を、5曲程度

練習してきて、披露する。

他のメンバーのいい歌を聴い

今日、歌う歌を 登録してください 2016/5/17

氏名	曲名	歌手名	キー	入力 マーク	入力 マーク
1	あまのじやく	三井あさ	♭	○	✓
2	オンリーユ-神戸	西尾夕紀	♭	○	✓
3	恋まくら	小田純平	♭	○	✓
4	宇奈月の雨	鏡 五郎	♭	○	✓
5	うめぼれ	ジエロ	♭	○	✓
6	ふれあひ輪	夏山洋子			
7	酒 湯	秋岡秀苗			
8	おんなの唇	松原のぶ			
9	古希花	千 昌夫			
10	おまえと水割り	坂井一朗			

活動の概要..

カラオケうた会は、2014年6月13日(木)を第1回として、毎月1回開催してきた。2016年3月で、開催回数は22回を数えるに至った。開催場所は、シダックス米松店のパーティールームである。メンバーは、一度でも参加された方を含めると37名になる

カラオケの方法は、特定のの人にチャンスが偏ら

て、よい歌を自分も歌えるよう練習する。時には、精密採点D X (機種はD A M) で、自分の歌の評価(課題)を知る

世話役..吉岡、会計 松島



ないように、毎回登録用紙に、当日歌う歌を記入して提出してもらうことにしている。この用紙には、上の表で示すように、曲名、歌手名、キーを記入してもらう。そして、順番に世話役が、歌う曲を予約していく。また、できるだけたくさんの歌が歌えるように、歌は、2コーラスまでとしている。1時から、4時半の3時間半で歌われる曲は、およそ55曲前後である。カラオケサークルの会の模様と、常連の参加者の写真を左に示しておく。

さて、参加者たちの特徴を以下に紹介することにしてしよう。まず、毎回、発売されたばかりの

新曲しか歌わないのが増永さんで、歌われた曲をざっと勘定すると、約125曲(重複を除く。以下同じ)にもなる。ジャンルは演歌である。次に多いのは酒井さんと橋詰さんで、お二人とも約70曲台の歌を歌われた。ジャンルはやはり演歌である。折尾さんと吉岡は約50曲、ジャンルはニューミュージック系が多いが、吉岡は、特に小田純平の曲を歌う。向川さんが歌う懐メロのムードミュージックは天下一品である。新田さんは、演歌が得意でキムヨンジャの曲を歌われる。長谷川さんは、石原裕次郎の歌などをムードたつぷりに唄われた。竹内さんは、小田純平の曲にのめりこんでいるが、シャンソンもなかなかうまい。以上の方は、約30曲以上(重複を除く)を歌われた。92歳になられる林さんは、王将や北国の春などを、力強く歌われる。有田さんは、透きとおるような声で、二輪草などの流行りの歌を歌われる。藤田さんは、いつも「栄冠は我に輝く」を最初に歌われる。常連の方々の持ち歌やその特徴は以上のようなものである。

次に、いくつかのカラオケサークルの実施報告書を紹介しよう。

第1回 カラオケうた会

日時…平成26年6月13日(金)
午後1時半から4時まで

場所…シダックス米松店

参加者…8名

実施内容

第1回目なので、最初に以下のことを決めた。本サークルの名称を「うた会」とする。(2)定例開催日は、毎月第3木曜日の午後1時から4時頃までとする。(3)場所は、主としてシダックス米松店とする。(4)会費は、当面は、フリータイム ドリンクバーつきで、一人750円(実費)。

さて、今回の参加者は、次のよう

うな得意の曲を披露した。

有田…倉敷川、酒の宿、止り木暮らし、ひとり

長良川、明日花

折尾…北へ、夜霧よ今夜もありがとう、ほか4

曲

小泉…夢追い人

手賀…窓、ノラ、再会

橋詰…札幌ラプソディー、雨の函館、くちなし

の花、南国土佐を後にして、雨のタンゴ

他

安本…悲しい酒

吉岡…冬のひまわり、時代、恋月夜、風の盆、

砂時計、紅い川、優しい嘘

第5回 カラオケうた会

日時…平成26年10月16日(木)、午後1時から4時30分まで

場所…シダックス米松店 大部屋

参加者…13名

実施内容

今回は、前回までに歌われた歌の曲名を個人ごとまとめたものを配布した。

参加者が披露した歌は以下のとおりである。

有田…そして雪の中、倉敷川

折尾…昭和の花、はまなす海岸、北へ、黒髪し

ぐれ

加藤…誰か夢なき、高原の旅愁、落ち葉時雨

竹内…川、男の弱さ、恋唄綴り、昴、峠越え、

メリーゼーン

橋詰…なにわ情話、下田慕情、居酒屋ほたる、

冬の蛍、恋文川

増永…大衆演劇旅一座、あばれ舟唄、海峡岬、

北の母子船、どうせこの世は成り行き任せ、

恋するだるま

宮崎…昭和枯れすすき

向川…こころ酒、銀座の恋の物語、さざんかの

宿、ブルーライト横浜、帰ろかな

吉岡…サライ、今あなたに歌いたい、花の遺言、

佐渡炎歌、恋月夜

山田…学生時代、アザミ嬢のララバイ

藤田…栄冠は君に輝く、南部蟬しぐれ、桂浜、

惜別の唄、あなたに雨やどり

伊藤…火の国の女、暴れ太鼓（無法松の…）、

泉州恋しぐれ、愛の園

酒井…（今回は、聞き役）

第10回 カラオケうた会

日時…平成27年3月19日（木）

午後1時から4時30分まで

場所…シダックス（102号室）

参加者…14名

実施内容

（1）今回は、山口さんが初参加された。レギュラーメンバーを含めると今回の参加者は14人で、定刻の4時半まで全57曲が歌われた。

（2）参加者と歌われた曲名は以下のとおりである。

増永…夕陽しほり坂、雪国ひとり、月猫、さす

らい慕情、会津山の神、幸せ桜、酒物語、

潮騒、面影橋

銅…（鑑賞のみ）

山本…この世は女で廻るのよ、夫婦三昧、夫婦

桜

林…さざんかの宿、王将、音無川、黒田節

橋詰…悲別、運命の愛、哀愁港、氷雨、団楽（ま

どい）、他人船

有田…噂の港、霧笛の宿

吉岡…夜明けの翼、冬ヒバリ、また君に恋して

る、心の橋、S A K U R A C A F Eに

て、優しい嘘、最後の夜だから、恋月夜

酒井…都の雨に、番屋、わすれ宿、屋形船

新田…土佐つばカシオ船、木曾の翌檣、一世一

代、三春の桜、雨の港町

向川…新妻と捧げる歌、大阪ラプソディー、君

恋し、千曲川、二人の世界、夜霧よ今夜

もありがとう、孫、北国の春、岸壁の母

竹内…恋月夜、南部蟬しぐれ、昴、砂時計、暗

夜航路、恋唄

宮崎…アザミの歌

松島…（鑑賞のみ）

山口…（見学）

（3）次回予定

2015年4月16日（木）今

参加者の声

酒井 慎夫

まずは20歳から80歳までの歌謡曲二百曲以上歌ってみることを目標としています。年齢に応じてキーを下げたり、歌いやすいものを選ぶ

して行こうと思います。

林 豊二

若い時には町に流れる曲を聞いてよく歌いました。ある時、歌う仲間である90歳の先輩が、本人は気付いていないのですが、突然聞くに聞けない狂った調子になり、皆の失望と同情をかけたのです。

私もその年になりました。私がそうならないよう頑張ろうと思います。

増永 一夫

念願だったうたの会が始まった当初は、ワクワク、ドキドキのドラマチックさが身に反応しました。皆さんが拍手で応援する中、各自が用意された曲目を思い思いに味わい深く、個性を出して一生懸命唄われる様子、魅力と心のこもった魅了たっぷり、溜め息がもれそう

です。新曲からナツメロまで、会場の席



は盛り上がりつつあります。腹から声を出して唄うことは体調にも大変良いと実証されております。皆さんのお手本を参考にしながらこれからも声の出る限り全力投球、愛を込めて唄い続けることを望んでおります。いきいき会の皆さんに感謝、感謝です。

長谷川 瑛

高齢者が気軽に歌を楽しむことを目的として、毎月一回カラオケボックスで3時間程度、夫々自慢の楽曲を披露し、日常生活の中で抱えている多くの不安や心配事など、ストレス発散の機会としては最高の場所となっている。高齢者にとって歌が脳機能を活性化させ、血圧、血糖値等改善に効果あり、認知予防や健康長寿への確かな手応えを自認している人は多い。これからより多数の参加を期待したい。



ダンス教室

教師 諏訪 公一
世話役 松島 成美

設立の趣旨

社交ダンスとは、毎日の私達の生活の中でのいろいろな社交的な、つまりみんなの集まりなどに踊るダンスのことです。皆が一緒に踊るためのものであつて、観衆に見せることが目的ではないのです。

皆が一緒に踊るけれども、思い出のステップを踏んで自分なりに自由に楽しく踊れることに社交ダンスの面白さがあります。

ダンスは健康と美容を保つためにいつまでも若くありたい、いつになっても最高に輝いていた、少々贅沢でも美しくありたいという願望のもとに、ダンスを生涯の友として嗜んでいきたい。

活動の方法

月に2回、福井駅前よろず茶屋でダンスのレッスンをしています。

活動方法は、

(一)教師は、この道70年の諏訪公一先生です。

(二)先生の指導で、繰り返し、いろいろなダンスのステップを習います。

(三)男女が向き合つて、あるいは組んで、音楽に合わせて踊ってみます。

(四)費用は、家賃供出金として、一人100円のみです。

活動実績

第1回のダンス教室は、2015年7月8日に開きました。参加者は、11名。以後、2016年3月末までに18回の教室を開きました。参加者数は延べ130名に達しています。

通常のレッスンは、50cmほどの長さのゴムひもを両手で持つて、胸の前でいっぱいに広げます。この時、肩甲骨を寄せるようにし、背筋も伸ばします。この姿勢で、3分間の基本ステップを踏みます。姿勢は、ダンスの基本で大事なレッスンですが、3分間のステップは、最初は大変疲れるものでした。先生がいつも言われるように、「ダンスは姿勢を正しくする効果がある。健康維持のもとになる」というのを実感します。ちなみに、諏訪先生はいま94歳、矍鑠（かくしゃく）としておられるのも、ダンスの効果だと思われまふ。

ステップは、スロー、クイック、クイックの3拍子のボックス型のステップ、スロー、スロー、クイック、クイックのトロットの基本ステップ、リズムカルなジルバやマンボのステップと進んでいきました。しかし、トロットのステップだけを見ても、単純なボックスの中で踊るのから、直進していくステップ、向きを変えるステップなどと進歩していきます。これらをマスターすると、混み合っている中で、すいすいと空いたところに移動ができ、パーティーでは、重宝します。

ジルバは、男性が女性をくるっと回して踊る楽しい踊りです。しかし、このステップも、や

がて、大きく開いてまた戻るとか、くると回して女性を抱え込むといったステップになるとなかなかむづかしく、何回も何回も練習が必要になっています。

この間、2015年12月10日は、第1回のダンスパーティーを実施しました。このときは、メンバー以外にもたくさんの方が参加があり、合計で31名（女性20名、男性11名）が参加され、レコードの音楽や、カラオケに合わせて、トロット、ジルバ、ワルツのステップを踏みました。前日には、会場とした会議室の机やイスを片付け、女性の方々は、クリスマスの飾りつけもして下さり、パーティーの雰囲気を作ってくださいました。休憩時間には、ジュースやケーキを食べながら談笑できました。

トピックスとしては、バイリンガルのインターネット放送を展開しているGEN社からの要請で、福井いきいき会活動を紹介する番組の中で、ダンス教室の取材をさせてほしいと申し込まれました。取材は2015年9月3日に行われ、インターネットへの公開は、2016年2月から始まっています。サイト名は、<http://www.genjapan.com>で、いつでも視聴できます。

具体的な活動実績の紹介 第11回 ダンスサークル

開催日時…2015年12月3日（木）

午後1時から4時まで

会場…福井システム不動産社の4階会議室

参加者… 11名

第11回のダンス教室は、次週に初のダンスパーティーを控えたレッスン日であった。当日は、雨のため、いつものよろず茶屋のロビーが使えず、システム不動産にお願いして、4階会議室を使わせてもらった。

レッスンは、いつものように、最初は、3拍子、3分間の正しい姿勢でステップを踏む基本を、次いで、ブルースを、その次にジルバを練習した。離れて踊るマンボのステップも教えてもらった。

これまでに、ブルースでは、踊りながら、左右りに移動するステップ。直進するステップ、方向を変えるステップ、右へ回るステップなどを教えてもらった。ジルバは、女性を手をまわして回転させる楽しい踊りで、回転の合図をしつかり男性が出さないとうまく踊れない。マンボは、離れてリズムカルに踊る。ワルツは、3拍子のゆっくりしたリズムの踊りで、ブルースと大差ない。

次週のダンスパーティーの選曲は先生にお願いした。また、みんなでダンスパーティーの参加者の確認、ケーキや飲み物の準備、飾り付けなどについて打ち合わせを行った。

第12回 ダンスサークル

開催日時… 2015年12月10日

午後1時から4時まで

クリスマスダンスパーティー

(サークル ダンス教室主催 12月10日(木))

ご指導: 諏訪先生、

場所: エコライフプラザ4階会議室にて開催

プログラム

- 13:30 開会(あいさつ、諸注意など)
- 13:40 第1回 ダンスタイム
- 14:20 コーヒー&ケーキタイム
- 14:45 第2回 ダンスタイム
- 15:25 休憩(茶菓子)
- 15:35 第3回 ダンスタイム
- 16:00 閉会

途中、カラオケによるダンスも行います。
歌いたい人は、吉岡までお申し出ください。

お願い

コーヒーは、よろず茶屋
飲み物コーナーを
利用してください。
会費には、2杯分まで
含まれています。

よろず茶屋の参加費として、
別途、お一人、100円を、
いただきます。
(福井いきいき会の決まりです)

終了後の後片付けに、
ご協力ください。

参加者

31名(男性11名、女性20名)

第12回のダンス教室として、初のダンスパーティーを開催した。会場は、システムバンクの4階会議室をお借りした。前日と当日の午前中に、会議机を部屋の隅に片付け、ムードを盛り上げるため、クリスマスの飾り付けを行い、ケーキ、ジュース、お茶、お菓子を用意し、コーヒーは、よろず茶屋のコーヒーサーバーを利用してもらった。映像として、アオッサのクリスマスツリーをスクリーンに投影し、カラオケセット、CDなどの音響装置を準備した。



午後1時丁度に、今回のダンスパーティーを計画、取り仕切った平林さんの挨拶、諏訪先生の挨拶に続いて、先生の指導で、全員がスロー、クイック、クイックの3拍子で基本ステップの確認をして本番のダンスを開始した。

パーティーは、最初の40分は、諏訪先生の選曲でCDのダンス音楽を流し、男性が女性を誘って踊った。途中、男女が向かい合って並び、向かい合った人同士の組み合わせて踊るようにしたので、女性も全員踊ることが出来た。

最初の休憩は、30分ほどのコーヒータ임とし、おいしいケーキとコーヒーをいただきながら談笑した。

次の40分は、CDによるダンス音楽から始め、途中から、参加者がカラオケ一番を使って歌うカラオケに合わせてダンスをした。ブルースのほか、ジルバ、マンボなどの曲も流し、楽しく踊った。

40分ほどで、2回目の休憩を取った。この際も、ジュースや、お茶、お菓子を食べながらの談笑だった。最後の40分は、再びCDのダンス音楽により、ダンスを行った。そして、ほぼ予定時間にダンスパーティーを終了した。

終了後は、参加者のご協力で、飾り付けを外し、会議机を元に戻し、音響装置をよろず茶屋に戻した。

今回は、申し込みをしていた男性3人が都合で欠席となったため、男女の比率がアンバランスになってしまい、女性の参加者には申し訳ないことになったが、参加者がお互いに協力して

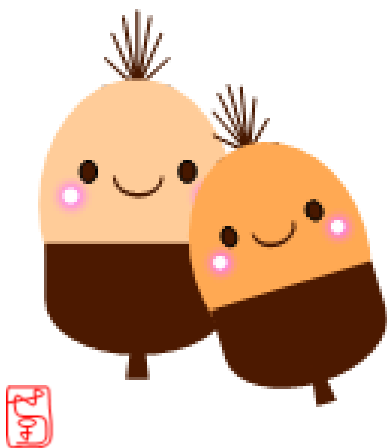
スムーズに開催できた。

当サークルが初めて企画したダンスパーティーとしては、参加者皆に楽しんでもらえたので、できれば今後も続けていきたいと思う。

参加者の声

増永 一夫

自己流で若いころに覚えた手、足を和らげるダンスのステップ。基本的に一からおそわるステップ。「サテ」音楽に合わせて踊るとなると悪いくせが出て、中々思うように、手足どころか身体全体が動きません。更年期で気合が入らないのか、踊ること自体が向いていないのかちよつと考えさせられますが、ここで止めてしまいうのも惜しい気がします。一歩後退しながらでも根気負けしないよう、根性精神で続けるか！皆さんのリズムミカルな動きにはびっくり仰天です。運動のつもりでもうひと踏んばりするのみ…。



パソコン教室

世話役 吉岡 芳夫

設立の趣旨

パソコンを使うと、いろいろなことができるが高齢者の場合は、もう仕事で使うような機会はなさそう。だから、インターネットに接続して、楽しむことを主眼とする。しかし、ちょっとした集まりの案内状、年賀状の作成や、仲間とのメールのやり取り、デジカメの写真の印刷ぐらいは、できるようにしたい。このような趣旨で、パソコン教室を開くことにした。

活動の方法

活動方法は月一回、福井駅前よろず茶屋で、サークル活動を行っている。

(1) 講師は、世話役の吉岡副会長、女性の松島、濱本両氏にもお手伝いをしてもらっている。

(2) 参加者は、原則として、ご自分のノートパソコンを持参してもらっているが、福井いきいき会の事務用のパソコン2台も、使用している。会場では、Wifiによるインターネットの接続ができるようにしてある。

(3) 指導方法は、講師の説明を聞いて、自分もやってみること、または、自宅でパソコンを使用しているときわからなかったことを講師に質問するような形の勉強もしている。

(4) 費用は、会場の家賃支払いの補助として、一回の参加当たり、百円を徴収している。

活動実績(概要)

平成27年4月に、福井駅前よろず茶屋が開設されたのを機にパソコン教室を始めた。以来、平成28年6月までに、14回開催した。開催ごとの内容と、参加者数は、左表のとおりである。

具体的な活動実績の紹介

第1回 平成27年4月5日

第1回目は、パソコンで出来ることとして、講師がインターネットで、ニュースを見る、天気予報を調べる、カラオケが楽しめる、メールのやり取りができる、旅行の計画(時刻表調べ、宿の予約)、地図と、ストリートビュー、デジ

カメ写真、DVD/CDの作成、プロジェクトによる投影などを、パワーポイントの資料で説明した。

第2回 平成27年5月9日

会場で、インターネットが接続できるようにした。実際にインターネットに接続して、地図検索、ストリートビューによる外国の風景の閲覧、YouTubeによる音楽やカラオケの視聴を行った。

第3回 平成27年6月6日

各自持参のパソコンを、インターネットに接続できるようにした。新しいパソコンは、Wifiで、古いOSのパソコンは、LANケーブルをつないで、接続した。参加者の一人は、インターネットで、福井の歴史を調べて解説した。

第4回 平成27年7月4日

参加者は少なかった。インターネットでニュース検索と、音楽を楽しんだ。

第5回 平成27年8月3日

夏の盛りになったので、暑中見舞いを作ってみることにした。ワードを使い、インターネットで魅力的な画像やイラストを探して。はがき面に貼りつけ、暑中見舞いを完成させた。

第6回 平成27年10月17日

ワードを使って、ちょっと素敵なイベントの

回	参加者数	内 容
1	10	インターネットやPCの楽しみ方
2	9	インターネット利用のデモ
3	10	各自のPCのインターネットへの接続
4	4	インターネットで、音楽とニュース
5	8	ワードで、暑中見舞いの作成
6	9	イベントの案内状、ワードのテクニック
7	10	年賀状の作成、筆王のインストール
8	11	年賀状の作成と印刷
9	10	写真の加工法
10	9	エクセルの使い方
11	6	写真入りの文書づくり
12	11	Windows 10の使い方
13	10	メールのやり取り
14	5	Outlookの使い方(メール、予定表など)
合計	122	

案内状の作り方を学んだ。イラストや、背景のインターネットからの取り込みや、officeのテンプレートを使う方法を紹介した。

第7回 平成27年11月16日

年賀状を書く時期になったので、筆王というソフトを各自のPCにインストールしてもらい、イラストをインターネットから選んで年賀状を作ってみた。住所録や、あて名印刷も試してみた。

第8回 平成27年12月14日

年賀状を完成させ、よろず茶屋のプリンターで、印刷も行った。ただ、プリンターが古く印刷速度が遅いのが問題だった。パソコン教室では、参加者の持参されるパソコンが、古いものが多く、まちまちなため、世話役の対応がむづかしい問題も実感されるようになったので、安価だが新しいPCを購入してもらうことを提案した。

第9回 平成28年1月18日

今回は、写真の加工を取り上げた。Picture managerというソフトを使い、トリミング、画像の明るさや色の調整の方法を試した。文書の中に画像を入れた時の、挿入位置の決め方なども学んだ。

今回も、PCやソフトのバージョンが参加者ごとに異なるため、世話役は苦労した。新しいPCの購入案内を行った。

第10回 平成28年2月20日

今回は、エクセルを取り上げた。日経パソコン誌のエクセルの講座をプリントして配布した。参加者の一人は、エクセルで簡易家計簿を作り、使用していることを紹介された。エクセルの便利な使い方を学んだ。

第11回 平成28年3月19日

ワードを使って、写真入りの文書を作成する方法を取り上げた。旅行会の記録記事を練習用に使い、書かれている内容にあった写真を選んで挿入する練習を行った。

今回は、windows 10に関するビデオも見てもらった。

参加者の声

濱本 たけ子

パソコン教室に参加して感じたこと。パソコンは著しく進歩していました。地球の裏側の今を検索し、その場で映像を映し出します。行ったことのない国の風土、地形、観光地と、旅行に行く前や後に観ると一層知識が広まり、思い出深い旅になります。又、行ったことの無い観光地を映像で観ると、行ってみたい意欲にかきたてられます。

このような技量は、パソコンに長けていないと出来ませんが、このサークルには吉岡さんと

筆頭にパソコンのパーソナリティが何人かいて、初心者にもわかりやすく教えて頂けます。70歳を過ぎるとパソコンで仕事はできませんが、日常生活で活かせたらと思います。

大野 勉

私は、パソコンでできないことは何もない、万能であると思っている。それだけに、パソコンを使って自分は一体何をしたいのか、が個人的な問題となる。私の場合は文書作成、表計算、メール、簡単なインターネット（調べもの、ショッピング、囲碁などのゲームなど）ができればそれで十分と思っている。退職直後から使い始めて20年ともなれば、上記の項目は一応何とかこなせるようになってるので、それほど不足感はないはずだが・・・。

当会でパソコン講座を立ち上げると聞いて、受けてみようと思った。理由はより高度な操作法を会得したいと思ったのと、多少とも講師の吉岡さんの手伝いが出来ればと思ったからだ。が、今のところその要は満たされていない。

その大きな理由は、受講中、他の受講者はみな目の前に自分のノートパソコンを置いて、講師の言われた通り操作しているのに、私の前にはパソコンがないのである。パソコンは耳学問だけではだめで、実際に操作してみなければ意

味がないのである。家には使い慣れた3台目のデスクトップ型があるので、家にある古くて重いノートパソコンを持つていく気になれないだけであるが、そういう意味でも私はこの講座の劣等生であると言えよう。吉岡さんのように自由にパソコンの操れるようになりたいとは思うのだが・・・。

世話役の言葉

吉岡 芳夫

インターネットを楽しもうと思って始めたパソコン教室でしたが、文書作成やエクセルの使い方などの希望もあり、間口を広めました。参加者がお持ちのパソコンや、パソコン経験がそれぞれ違っていることで、試行錯誤しながらの教室でした。



よろず討論会

世話役 福井 康人

設立趣意

福井いきいき会設立の狙いは、一生勉強、一生感動、一生青春であり、年をとってもいろいろな人と議論ができる環境を提供するという私の考えであった。そのために、まずは多くの人に集まってもらえるよう例会を開き、より多くの楽しみの場や交流の場を提供できるものとしてサークル活動を始めた。そこで、自然発生的な議論もよいが、当初考えていた討論の場を新たに作るのが良いのではないかと考えてその一つに「よろず討論会」を提案したものである。

活動の方法

(1) 月1回・午後1時～3時の開催とし、討論のテーマは参加者の意見を集約して決め、参加者全体で討論していく。
(2) 討論のテーマは出来るだけ身近な問題や今日の問題の中から選ぶ。

活動実績

第1回

平成27年5月29日(金) 48名参加

第一回目ということもあり、福井会長の恩師、拓殖大学名誉教授の田中一昭先生をお招きして、吉岡副会長の進行のもとに行われた。

テーマは、①「福井の良さ」、②「高齢者が良い老後を過ごすには」、③「その他」であった。

①の「福井の良さ」について会員からは

- ・福井県は学力、体力、持ち家比率、車保有台数、社長の数等日本一とされる項目が多い。
- ・福井県は幸福度では全国でトップであるが、魅力度は45番目である。中小企業が多く、3世代の同居が多く、伝統産業が多く、夫婦共稼ぎが多く、仏教王国で勤勉性が高い等が幸福度を高める要因となっている。

- ・幸福度イコール満足度である。自分が満足であれば幸福であると言つてよいのではないか。などの意見がでた。

これらの意見に対して田中先生は、

「教育関係では、福井県の子供の学力が良い事については先生が良い事に通じる。先生の存在が大きい。幸福度は感性の問題である。経済学で良く数字を出す事があるが、そういうものだと思う方がいい。バスを待つ時 日本できつちりと並んで待つという国民の公共心は評価できる。」とアドバイスされた。

③「その他」の中からは特に「家庭における子供の教育」が取ら挙げられ、会員からは

- ・三世帯家庭では、孫の教育は親に任せて、じいちゃん、ばあちゃんはあまり干渉せずに静

かに見守るべき。

- ・大先輩から「善き凡人であれ」との言葉を得たが、含蓄のある教えで今も大切にしている。

- ・過去は父より先に食事をする叱られた。

- ・知識の偏重主義が昔も今も続き不安である。

- ・子どもが登校拒否になった場合、母親任せだった教育に父親が真剣になると、登校拒否は改善されることが多い。

などの意見が出た。

これに対して田中先生からは、「親も満足してはいないけど、こんなもんやと妥協する。包容力とかは大切なものと思う」との助言があった。

第2回

平成27年6月26日(金) 14名参加

討論のテーマとして提案されたものの中から

①オワハラについて

②若い女子のミニスカートとマナーについて

③腰痛の対処の仕方

④国立大学における君が代の斉唱についての4点テーマを絞って議論した。

まず、①のオワハラについて議論された。これは、若者の就職試験に内定を出すことで他の会社を受けさせないようにするの意味する造語である。これに対して会員からは、

・若者にこの会社で働きたいと思えるようにするのは会社側の責任である。

・私立大学では推薦で内定をもらったら、辞退は厳禁と指導している

などといった意見が出た。若者に福井に残ってもらうには、魅力ある企業をもっと福井に作らなければならないという意見をまとめたとした。

②番目の若い子らのミニスカートとマナーについてでは、

・電車内での座り方、化粧など、年配の女性からみると大きな問題だ

・同感だ、ドキドキする

・盗撮などのきつかけになる

などといった議論がなされた。しつけ教育が不足しているのが問題の根源かもしれない。

③の腰痛の対処の仕方では、参加者のほとんどが腰痛を抱えており、整骨院でのマッサージ、コルセットの着用、歩く姿勢が大事、棒の上に寝て左右に体を動かす方法（寝てするトレニング）には効果がある、などそれぞれが自分の経験の紹介があった。

④の国立大学における君が代の斉唱についてでは、

・君が代の斉唱を学校で強制するのはいかなものか。

・君が代の君が、天皇を意味すると考えると

歌いたくなくなるのではないか、今は君は我々の意味だ

・戦前学校では教育勅語や君が代を直立不動で読んだり、歌ったりしたものだ

・外国の国歌に比べて君が代はいい。

・そういえば、このところずっと国民の祝日に国旗を掲げる家がなくなった。

・君が代を歌うのは、右翼の感じがするので歌わない、逆に左翼の人は天皇家の繁栄を思わせるので歌わない。

などいろいろな意見が出された。

第3回

平成27年7月24日（金） 22名参加

（1）オリンピック競技場の建設問題では、責任者不在。デザインだけのコンテストをしたのが問題。文部科学省の責任が不明確。すでに払った70億円が回収できるのか。安倍首相は支持率回復を狙っているのではないか。オリンピックの経済効果で費用は回収できるのでは。あまりの無責任さに国民は怒っている。などの意見が百出した

（2）年金の問題では、70までは働いて退職と同時に年金をもらうようにすべき。70歳までできる仕事といえば、掃除や警備などしかない。インフレしか解決策はないが、それは、老人に

とってはつらく、生活できない。一般の年金は減額なのに国会議員の年金は減額されないのは納得できない。年金問題の解決法は若者に結婚させ、子どもを多く出産することなどの意見が出た。

（3）介護保険については、2000円で済むリハビリに毎日病院へ行っているが、1割負担だから、実際には2000円かかっていることを認識すべきだ。安易に保険を使うべきでない。介護保険の世話になるより、元気に過ごせるように努力すべき等々の意見が出た。

第4回

平成27年8月28日（金） 26名参加

（1）福井駅前の活性化については、金沢に立ち向かうには、恐竜博物館を前面に押し出すべきだ。県庁を他に移して、お城を再建しては。朝倉遺跡、永平寺、平泉寺、勝山の恐竜博物館など広域で魅力ある観光地にすべきではないか。などの意見が出され、町のデザインに関して、福井大学や福井工大がもっと積極的に役割を果たすべきとの意見もあった。

（2）スマホの問題
若者は、スマホばかりやっている。子供もゲームばかりやっている。一方、高齢者は使おうと思っても使えない。

(3) シングルマザーの貧困問題

離婚が増え、シングルマザーの貧困が社会問題になっているが、生活保護ではかなりのお金
が支給されている。とはいえ、子育てと仕事
でシングルマザーは大変だ。

(4) お墓と仏壇の問題 先祖を大事にしない
時代になってきている。親の時代まではお墓を
守るが、親が亡くなると、お墓も無くす時代。
散骨する人が増えている。お寺は、お金がな
く維持できなくなってきた。散骨は、葬儀屋さ
んが手引きをしてくれる。お墓も、夫婦どちら
かが一緒に入るのは嫌というケースもある。子
らが、県外へ出れば、お墓も守るのも大変
になる。

第5回

平成27年9月25日(金) 19名参加

(1) 女性がもっと活躍できる社会にするの
にどうしたらよいか

①活躍し、昇進する女性の足を、女性が引ッ
張ることが多いのが問題だ。

・結婚して子供がうまれると、育児や夫の世
話などで仕事に熱中できない。活躍する女性が
子育てなどで、不利にならないような制度は必
要だ。

・女性は、子育てが終わったら、本格的に高

度な仕事をできるようにすべき。

(2) 心霊現象について

一参加者が、父が交通事故にあつたまさにそ
の時間に、急に高熱が出て、10分ほど熱が下
がつた経験がある。科学では説明できない何か
が事故を知らせてくれたのだと思うとの経験
談を話すと、3〜4人の参加者がそれぞれの体
験談に応じた。参加者のほとんどが、科学を超
えた心霊現象は現に起きるという理解をした
ようだ。

(3) お墓の問題

生前にお墓を立てる人もいる。戒名をつけて
もらうときの金額はどれくらいか。親のお墓に
入れるのかどうか、配偶者と同じ墓には入りた
くないという人もいる。子供にお墓の面倒を見
てもらえないので、散骨にする人も増えている。
お墓不要の時代になってきたのだろうか。など
の意見が出た。

第6回

平成27年10月23日(金) 24名参加

今回は、大森県議をお迎えして、政策の話を
聞くとともに、参加者から意見や質問をして、
議員との意見交換などを行った。大森県議の話
の概略は以下のとおりである。

(1) 福井県県政計画… 背景は若者が福井

に戻ってこなくなったことにある。以前は福井
には家業を継ぐための帰郷や、産業もあった。

今は、有効求人倍率は全国2位と高いが、求人
に魅力が無く応募数が少ないために過ぎない。
高等教育を受けた女性の就職先は、役所、教員
ぐらいしかなく、そこ10倍もの倍率である。青
年大学のようなところがあつたが今はない。金
沢は大学が多く、他県からの流入もあつて18歳
人口は減っていない。そこで考えたのが県政化
計画。山手線の県庁地区は高齢者の街になつ
ている。福井も、メガネ、補聴器など良い技術
があり、医療も充実できるので、高齢者用のグ
ッズを集めて、余裕のある高齢者に来てもらう。
(2) 訪れる人が満足する街づくり… 大森議員
は市域を広げるのには反対してきた。郊外で区
画整理事業などをやってきたのは、問題だった。
中心街の活性化が必要。100円バスは、商店
街の歳末売り出しの費用をバス路線展開に拠
出してもらうてきた。今では4路線が運行さ
れ、50万人利用者がいる。市は赤字補てんをし
ている。総合クリニックビルも、遊休ビルを利
用してできた。

(3) 住居・工場… 福井市では、市内に工場を
作れない。住宅も建ぺい率の問題などで福井市
内では高くつくので、春江や鯖江に建てる人が
多い。構想としては、セーレンの車のシート、

バッグなどの高度な縫製技術を使った大規模な工場を福井空港の近くに作るといったことが良いと考えている。自動車関係は裾野も広く効果がある。金沢は戦略を持って開発をしてきたが、福井もそうすべきだ。

(4) 新幹線については、敦賀止まりは意味がない。早く京都か大阪につないで、北陸新幹線と東海道新幹線でループにしなければならぬ。一番いいのは、関西空港まで伸ばすことだ。これなら、関西空港は、アジアへのアクセスが良い立派なハブ空港になる。

(5) 政治家にはコミュニケーション能力がなければならぬ。恐竜博は、原子力の資金を使って作ったが、大成功になった。入場料が安過ぎる。入場券の売り上げは、博物館内の小さなお土産屋さんの売り上げと変わらないほどである。こういった施設内の喫茶店なども、収益源にできる。工夫してやるべきだ。サンドーム、音楽堂も原子力の財源を使って作ったが、成功している。

(6) おもてなしの福井!! おもてなしの特区を作る案。朝倉遺跡にお金持ち対象の食事処を作った。施設への入場券なども安すぎる。稼ぐことが出来る福井にしなければならない。

第7回

平成27年11月27日(金) 19名参加

今回は、福井テレビの12月5日(土)の番組で、福井駅周辺の活性化の議論をする予定に對して、福井いきいき会の討論の様子を取材したいとして、このテーマに絞った討論を行うことにした。

討論会は、一参加者が、福井は幸福度日本一と言いつつ、一方で魅力度は45番目といったありさまだ。幸福より、魅力度アップの施策を取るべきだと発言。これを皮切りに様々な意見が出された。主な発言は

・ 駅前の活性化。ハビリンの屋根付き広場の利用を早速計画したが、一日30万円の費用が掛かるというのであきらめた。これでは誰も使えない。

・ この広場が福井市民向けなのか、外部からの来客向けなのかによって対応は異なると思う。

・ 駅前に福井名物の蕎麦屋など、食べるところをたくさん並べるのがいいのでは。

・ 県外の人に来てもらうための宣伝が、福井は下手。

・ 福井国体や、新幹線の延伸がすんだ時に、対応が出来ていないとだめ。時間をかけて、開発、整備を進めるべき。

・ 恐竜博物館が大人気なのはいいが、駅の前

ンチに恐竜が座っていて人が座れないのは、問題だ。

・ 福井駅前をにぎやかにするには、大きなイベントを増やすのもよいが、結局は、車を使わない人に来てもらえらることを考えたほうが良いように思う、などの意見が出た。

第8回

平成27年12月25日(金) 20名参加

今回も、最初に討論のテーマを挙げてもらった。議論が発散しないように二つ程度に絞って議論したいと、福井さんが発言。(1) 駅前の活性化、(2) 高齢者の軽犯罪の増加、(3) 右傾化が目立つ社会問題、(4) 子供の虐待問題が、テーマに上がったが、このうち、高齢者の軽犯罪と、右傾化などの社会問題を議論することにした。

(1) 高齢者の軽犯罪について..最近、高齢者が万引きしたり、お金持ちが些細な窃盗をしたりするといったニュースが増えてきたように思う。なぜだろうかという、大野さんの疑問に関して、意見を交換した。確かに戦後の子供の多い時代には、食べるための盗みが多かったが、今は違う。核家族化で同居の家族が少なく、疎外された高齢者が、存在を認めてほしいために事件を起こすようになったのではないか。

(2) 次に、民主主義や右傾化について、活発な討論を行った。戦争中は、徴兵制があり、政府の方針に異論を唱えることはできなかった。異論を言えば憲兵隊が非国民だとして収監し、もう時代だった。戦争の開始も陛下の意思ではなかった。日本の敗戦で、戦勝国アメリカは、日本人に民主主義を教えた。いろんな意見のある中で、最後は多数決で物事を決める方法である。今は、政権担当の自民党が弱小野党を寄せ付けず、右寄りと感じられるような政策を実行に移している。国民には、安保改正が強硬とみられている。原発再稼働や、沖縄の普天間から辺野古への基地移設も、強硬とみられる。国民の選挙による付託を受けた政党なのだから、多数決の原理に従う民主主義といえるはずなのに、反対の声は大きい。いろいろな議論の中で、原発の安全性、そのテロ対策、高速増殖炉の意義、電力の自由化とは何か、ISや難民受け入れの問題なども取り上げられ、知識を持っている人が、技術解説なども行った。福井さんからは、日本の行政改革700人委員会の福井県代表として活動された経験から、福井県人の保守性を嘆く言葉も聞かれた。

第9回

平成28年1月29日(金) 16名参加

今回も、最初に討論のテーマを挙げてもらった。出されたテーマは、(1) 15年先を考えてみては、(2) 東京の地震対策、(3) 災害救済ロボットの可能性、(4) 技術者・理系の人の県外流出、(5) 認知症について、(6) 子供の虐待事件、(7) コンピュータがプロ棋士を負かす時代、(8) 若者が結婚しない問題、(9) 年金制度など。以上のように多数のテーマが出されたが、直近の問題として、若者の問題を議論することになった。

主な意見は以下の通り。

- ① 人口減少は結婚しない若者が増えているため。勉強ばかりしていると結婚に興味がなくなるのでは。
- ② 昔は、今のようには娯楽がなかったので結婚生活が楽しみだった。
- ③ 昔は、5人兄弟姉妹が普通だった。
- ④ フランスは子育てに厚い支援策を取っている。
- ⑤ 生活水準を下げたくないで、費用のかかる子供をあまり生まないようになった。学歴社会で教育費がかかる。
- ⑥ 昔は会社の人事部が結婚をあっせんしていたが、今はセクハラと言われてしまう。年寄りの出る幕ではなくなった。
- ⑦ 人口減といっても江戸時代の人口4000

万人に比べればずっと多いので、大した問題ではないということもいえるのでは。

⑧ 結婚相談所では、今は女性が強く、断るのは女性の方が多い。

⑨ この問題は、年寄りだけが話をしていてもダメのようだ。

以上のような議論の結果、若い学生(大学生)と話し合いをする機会を作ろうということになった

大学生との話し合いを持つことについて。

- ① 話し合いの目的やテーマをしつかり決めておかないと、効果はなさそう。
- ② 大野さんの人脈を使つて、まず、福井大学のしかるべき先生に相談することにしよう。
- ③ 話し合いにあたつては、こちらもよく勉強し、ある程度意見をまとめておかないとだめだろう。
- ④ 今欠けているのは道德教育。悩みを持った若者の意見を聞くときは、こちらの意見を押し付けず、そのまま聞いてあげることが重要だ。
- ⑤ お寺に来てほしいが、なかなか来てくれない。人生で、4つの恩(神仏の恩、親の恩、社会の恩、自然の恩)を忘れてはいけない。家庭教育が何と言っても大切だ。人間は弱いもの。みんなで助け合うことが必要。宗教心がなくなっている。

⑥大切なことは、小学校3・4年生までは、恐い父であり間違ったことを言わないこと、母は父を子供の前で批判しないこと、父母の不一致は絶対に避けることだ。中、高校生になったら、父ちゃんは偉いではだめ。父も失敗はあることを知らせることも必要。人の発達段階を理解して子供の教育に当たることが大切だ。

今回の討論の結果として、大野さんと福井さんが、福井大学の先生と下打ち合わせをすることになった。

第10回

平成28年2月26日（金） 18名参加

福井会長より、福井大学学生との話し合いの件で、大学との交渉経過の報告があった。先日、大野さんと会長が、福井大学を訪問し、学校担当者と接見し、学生たちとの話し合い機会を持ちたい旨申し入れ、折衝を行った。これに対して学校側の明確な即答は得られなかったものの、今後1〜2か月後に具体的な返答がある予定。大学側の前向きな返答を待ちたいとのことであった。

今回は討論テーマを設定せず、最近のTV、新聞報道のなかから注目されているニュースを中心にフリートークキングによる意見交換が行われた。例えば、児童虐待による死亡、重傷

事故の多発、親子関係と家庭教育、シャープのホンファ精密工業（台湾企業）への傘下入り、226事件（昭和11・2・26）の社会背景と昨今の情勢、国会議員（閣僚、議員）の相次ぐ失言、暴言、不祥事問題、民主維新の統合、外国人労働者の増大に伴う若者の就業機会の減少の懸念、その他 活発な意見交換が交わされた。

第11回

平成28年3月24日（金） 21名参加

今回は、最初に来月行われる福井大学学生との懇談会について、どのように準備したらよいかを議論した。ついで、いつもの通りの自由テーマについて意見の交換をした。

福井大学学生との懇談会について、漠然と話し合いの場を持つても意義のある会にはならないのではないかとの問題意識から、まず、懇談会は今後も継続するのかどうかについて議論し、継続するが、毎月ではなく数か月おきに実施することにすることを決めた。

議論の中では、次のような意見もあった。楽しい話し合いにするだけでよい。とにかくやってみてほしい。いや、続けてやるなら、成功させなくては意味がない。話し合いの結果、何かのアクションを起こすのが狙いか。それもよいが、

力みすぎてはだめだろう。福井大学の学生だけでなく、他の大学の学生にも声をかけるべきだ。大学側の窓口としてお願いに行つた松木先生は、障害者、問題児教育などの専門家で、大変気さくな、良い先生だ。学生を集めてもらえらる期待している。

参加者の意見

吉田 美恵子

よろず討論会はとても楽しいです。世間を騒がせている問題、気になるニュース、身近な出来事等、皆が意見を出し合い討論していく。なごやかに、和気あいあいと話が進み、時間が経つのが速いこと！毎回どんなテーマで討論されるのか？楽しみに出席しています。

長谷川 瑛

毎朝目覚めると、必ずTVニュース、新聞で国内外の政治、経済、社会問題難等の世の中の出来事を見聞一覽するのが私の日課である。しかし、最近の世相を反映した暗いニュースが多くを占め、暗澹たる気持ちと将来への不安が重くのしかかる思いである。おそらく老若男女を問わず、多くの方々が共通の感慨をお持ちではないでしょうか。こんな時、同世代の仲間が一堂に会し、自分にとって最も関心の高い時事問

ることだと思えます。

題などを提言し、参加者夫々の多面的な視点から虚心坦懐に意見を論じ合いながら、問題の本質に進めればこれほど痛快なことはありません。このように自由闊達に議論できる唯一の場が「よろず討論会」であり、誰もが気楽に、楽しく話すもよし、聞くもよし、多数の参加者を期待したい。

山口 悦子

よろず討論会に参加するようになってから、新聞をじっくり読んだり、講演会のお話等をまとめたり、課題意識を持つようになりました。考え方の幅が広がり、時間をかけて考える習慣が出来て、認知症の人や家族への支援活動を行っている私にとって、大きなプラスになっていると実感しています。

2年6ヵ月前から姉の介護に加え、自分自身の健康にも不安があつて、リラックスする時間が必要な私ですので、よろず討論会は自分へのご褒美の時間と思っています。前回の記録を頂けるのも有難いです。

無記名

「よろず討論会」では、家族の問題や人生の問題、時事問題、その他諸々の問題についていろんな意見を聴くことが出来て、非常に意義のあ



囲碁・将棋の会

世話役 中野ふさる

設立の趣旨

子供の頃は遊びとして、大人になってからは趣味として、メジャーの最たるものの一つに囲碁・将棋が挙げられよう。しかも、碁盤（将棋盤）と碁石（駒）があり、同じ趣味を持つ者が二人揃いさえすれば対局が可能である。さらに、たとえ両者の間に力の差があっても、将棋なら飛車、角落ち、囲碁なら置き碁をするなどのハンディをつけることでほぼ同等に打ち合えるなど、サークル活動には最適の種目であるとの趣旨で活動の一つに加えられた。

活動の方法と雰囲気

とに角道具がないことには始まらない。有難いことに、「家に眠っている碁盤・碁石、将棋盤・駒があるから」とか、「団体で使っていたが今では用済みなのでどうぞ使ってください」とかの理由で、道具は必要数以上に容易に調達できた。会員は、今のところ残念なことに将棋の希望者はいない。囲碁は有段者が3名、級持ちが4名（いずれも自称）、計7名が登録している。他にも飛び入り参加者が時としてあるが、せめて調達した碁盤、碁石がすべて使われるほ

どに会員が増えてくれればと願っている。

囲碁の開催予定は月2〜3回組まれており、午後1時から4時近くまで時間の許す限り楽しんでる。

特に対戦表を組むという事はしないで、その都度話し合っただけで対戦している。また、勝敗についても今のところ記録を残すという事はしていない。対局を積むことにより、ある程度力をつけることはできても、それを具体的に評価するというのも困難なので、和気藹々と碁を楽しむことを最優先しているのが現状である。今後いきいき会として囲碁大会でも開催できたらという思いは会員の中にあるようだ。

囲碁を楽しむ雰囲気

碁石を持つのは初めてという女性会員がいるが、この人は非常に熱心で素直で向上心が旺盛なので、他の会員みんなが喜んで丁寧に教えている様子は微笑ましい。

他の会員も相手を見つけ、手合いを確認し、「お願いします」の挨拶で第一石を置くのだが、横で見ていると、一人ひとりの性格が碁そのものにも、また、交わす会話にももろに出てとても面白い。打ち始めたときの謙虚な態度は打ち進むにつれて次第に辛辣な言葉に、或いは負け惜しみと思えるような言葉に様変わりし

ていくのである。温厚と思える人が碁に顕す性格は剛直で「今に見ている、お前の石は全部取ってやるぞ」と気迫満々である。取ろうと思つた石が逆に取られても「参った」とは言わず、



囲碁を楽しむメンバーたち

「勘違いしちゃった。ほぼ取れていたのに」と負け惜しみとも思える言葉で応ずるのである。逆転勝ちした相手はただにやにやしているだ

けである。

逆に剛直な性格と思える人が手堅い碁を打ったり、守り一辺倒での碁を打ったりするのである。ともあれ我々囲碁愛好家の囲碁は和気藹々の雰囲気の中で進められていく。

活動実績

活動の日時と参加人数は表の通りである。そう多くない会員であるが、最初のころから比べると一定の参加者があるといえよう。魅力的なサークルが多い関係で、日程が重なるどころ

参加人員							
27年度				28年度			
4月17日	4	9月4日	5	1月8日	6		
4月25日	4	9月10日	3	1月15日	6		
5月15日	6	10月9日	5	1月22日	7		
5月23日	2	11月7日	8	2月5日	5		
6月12日	3	11月21日	3	2月19日	7		
6月20日	2	12月5日	5	2月24日	4		
6月30日	4	12月12日	2	3月4日	7		
7月10日	7	12月17日	7	3月17日	4		
7月18日	7			3月23日	4		
8月12日	4			4月1日	6		
8月20日	4			4月14日	7		
				4月8日	8		

らかの参加サークルを選択しなければならず、その関係で若干の増減があるのではなからうか。とにかくもう少し会員が増え、将棋の会員も出てくることを願っている。

参加者の声

豊嶋 一朗

時々ご指導いただいている高間さんの紹介で、初めて参加させていただきました。多数のお声がしたので入らせてもらったら麻雀の方のお声でした。

世話役の中野様と、その後来られた石田四段とお手合わせいただき、楽しませていただきました。ありがとうございました。これからも寄せていただきますので、よろしく願います。

津向 清

囲碁の会で碁石を入れる容器を何というかと話題になり「ごけ」だと言ったらどんな字だと聞かれハタと困った、おっかけ調べてみたら、碁笥だった。「笥」の意味は食物を盛る器の古語（日本大百科全書より）とありました。同じ文字を使う言葉に「箆笥」があります、一方は「ケ」なのにもう一方は「ス」。もともと笥とは容器一般をさす場合もあるようなのですが、なぜこのような使い方をしているのかさっぱり分かりません。

でも久しぶりに辞書を繰りました、いきいき会のモットーである「一生勉強」をこれからもずっと生きがいとして続けてゆきたいものだと思います。

世話役の言葉

“ 囲碁に会って ”

中野 ふさあ

床の間に置かれている足つき碁盤、使い込んだのか気品あふれた色艶。やさしくも見え、凛としているようにも見える。中央には丸みのある碁笥。八分くらい入っている碁石。

格調高いのは、白石はハマグリで、黒石は那智黒で作られており、更に格調高いのは、石を碁盤に置いたときブルルンと揺れ動くのだとか。白石は百八十個、黒石は百八十一個と、なぜか黒石が一個多いのだそうだ。

一つだけ手のひらにのせてみる。上下のない丸み。今にも動き出すような生氣。思わず頬ずりしたくなるような愛らしさを漂わせている。やってみたいが、出来るかな…。何も知らないし、わからない。石の置き場所さえも。

1年間何とかルールを教わる。目が二つあれば生き。そんなの簡単だ、と思ったのが大間違い。悪戦苦闘すること2年。ある時は涙、もうやめたい！でもどうしても憎めない。何かを教えてくれそうな貴方（碁石）が大好きです。

懐かしの映画鑑賞会

代表世話役 朝井 英明

竹内 貫

設立の趣意

学生時代に総天然色カラーの「小鹿物語」を初めて見たときの感動を皆さんは覚えていますか？とにかく美しかったですね。スクリーンに映った森の緑や、堂々たる大樹、何とも言えない鬱蒼とした大森林の奥深さ、またキラキラ輝いた雨粒が樹の葉を伝って、流れ落ちる様子など何か神秘的で、これまでの白黒映像とは違って、全てが新鮮に感じられ、森ってこんなに素晴らしい所だったのか、と感動しました。

それから、鹿の群れが何頭も朽ちて倒れた大木を、しなやかに、優雅に飛び越えていた映像は、とてもこの世のものではないような気がして、今でも私の脳裏に鮮やかに蘇ってきます。西部劇では、「駅馬車」、「シェーン」、「帰らざる河」など・その外、「風と共に去りぬ」、「雨に唄えば」、「禁じられた遊び」、「ゴッドフアザー」等々。

皆さんそれぞれに思い出があると思います。が、このような「懐かしい映画」を鑑賞するサークルを立ち上げて、ポツンと家でひとりで見る

のではなく、お友達と一緒にお茶をしながら楽しく鑑賞して、その後「映画って、本当にイイものですね」と感想をはじめとして、そのほか、「なんでもおしゃべり会」ということにしてワイワイガヤガヤやってから散会すると言うようなサークルにしたいとの念願から設立を申請しました。

運営について

初めに平成26年6月17日にアオッサ7階の706号室で第1回映画鑑賞会を開き、「禁じられた遊び」を鑑賞した。その後参加者で協議し、今後以下の要領で運営することにした。

会場

アオッサ七階706号室（上映設備が整っているため）。平成27年4月に福井駅前よろず茶屋が整備されたので、それ以降は、よろず茶屋で上映している。

世話役

設立時は、浅井英明、前田行雄、濱本たけ子
平成27年5月から、竹内貫、濱本たけ子が世話役になっている。

実施日程

当初は、月1回第2木曜日の午後1時より約3時間程度の映画を上映していたが、現在は、毎月、第1火曜日に開催をしている。

参加費 100円

連絡方法

福井いきいき会の月間のスケジュール表で、開催日などを知らせている。

幹事会

代表世話役が必要に応じて招集する。

その他

必要に応じて全体会議を行う。上映中に必要に応じて休憩時間を設ける。鑑賞中の茶菓子等は各自が準備する。

懐かしの映画鑑賞会で上映した作品名

アオッサ会場

第1回 禁じられた遊び

第2回 老人と海

第3回 慕情

第4回 自転車泥棒

第5回 風と共に去りぬ

第6回 シヤレード

第7回 レベッカ

第8回 陽の当たる場所

第9回 美女と野獣

第10回 ガス燈

第11回 群衆

福井駅前よろず茶屋会場

第12回 地上最大のショー

- 第13回 カサブランカ
- 第14回 ココ・シャネル
- 第15回 タルサ
- 第16回 コンドル
- 第17回 アンナカレーニナ
- 第18回 第3の男
- 第19回 裏窓
- 第20回 哀愁
- 第21回 ゴッドファーザー
- 第22回 ゴッドファーザー(続編)
- 第23回 ドクトルジバゴ
- 第24回 誰がために鐘は鳴る

活動実施報告

代表的な実施報告書を、以下に紹介する。

実施報告書(第1回)

日 時 平成26年6月17日
会 場 アオッサ706号室
上映映画 禁じられた遊び
参加者 14名

鑑賞後、次のような協議を行った。

幹事に前田行雄、濱本たけ子、浅井英明の三名、幹事補助として松島成美、小林久子の両氏に決定する。希望する上映映画名に「慕情」、「終着駅」が挙がる。第2回目は「老人と海」とする。

3回以降はもつと有効な決定方法で協議していくこととする。第2回目は7月10日午後1時からアオッサ706号室

実施報告書(第4回)

日 時 平成26年9月16日
会 場 アオッサ706号室
上映映画 自転車泥棒(イタリア映画)
参加者 18名

鑑賞後、今後の運営について意見を交換した。上映する映画の選定について協議した結果、次回活動日に映画の題名を列举し、その中から出席者に上映してほしい作品を1人宛て5、6点推薦してもらい、これを集計して各メンバーがどの映画を希望しているかを把握し、出来るだけ希望に沿った作品を上映することとした。

実施報告書(第5回)

日 時 平成26年10月7日
会 場 アオッサ706号室
上映映画 風と共に去りぬ
参加者 16名

鑑賞後、次のような協議を行った。

上映映画の選択について10月14日の運営委員会において検討の結果、選択方法として提案のあった「世界名作映画全集五十枚を生かし、

次回11月上映の参加者に希望する映画を選んでもらうことが承認された。

とりあえず十一月上映の映画については10月の運営委員会において投票・決定した結果、「シャレード」、「ハムレット」、「双頭の鷲」の3作品が選ばれた。

参加者の声

増永 一夫

長期間、映画館の入館は無いのですが、ビデオで見ることはありました。特に洋画は邦画と違って迫力とパワーあふれる立体感と、映画の中でしか表現出来ない美しさ「懐かしの映画鑑賞会」で見る映画の数々、スクリーンに映し出される度に胸の奥から熱くなります。満足度の高い映画は匂いまで伝わります。名画の感動の数々、素晴らしい映画に出会いたいです。まだ見てない名画、ぜひ見たいですネ。映画って本当にいいものです。映画は命の宝です。今後の映画に期待しております

北川 義子

お誘いいただいて福井いきいき会を知りました。「懐かしの映画鑑賞会」と「音楽鑑賞会」のサークルに数回参加させて頂いています。青春時代に感動して何度も見た映画なので、

心地よい名曲のメロディ、喜怒哀楽の人生を回想しながら楽しみました。

まだ不慣れなので、サークル活動の世話役の方々に感謝しながらこれからも楽しく参加させていただきます。

濱本 たけ子

映画の題名を知ると、ワクワクします。青春時代にタイムスリップし、そのころの自分の行動と一緒に観た人のことを思い出し、懐かしさが蘇ってきます。若いころの娯楽は映画が中心でした。今は、映画を見に行くこともめつたになくなり、テレビ中心になってしまいました。リバイバルで見たい映画が、まだまだあります。月一回の「いきいき会」での上映を楽しみにしています。

世話役の言葉

竹内 貫

終戦後70年、同時代に青春時代を過ごした我々にとって、映画は当時唯一の娯楽であり、知恵、知識、夢を与えてくれました。アメリカ映画の第スベクタクルに始まり、フランスの甘美な恋愛劇、イタリアンリアリズムの代表「自転車泥棒」等々数多くの名画が想い出されます。いきいき会では、会員の方々のリクエストに添

いながら、順次上映しています。今後も会員の皆様のリクエストに添いながら、劇画に限らず、ドキュメント、世界の絶景等ジャンルを問わず、逐次上映して行きたいと思っています



音楽鑑賞会

世話役 小林 久子

設立の趣旨

音響機器が益々進化を遂げていく中で、黒い円盤に静かに針を落とし、レコードの回転により音楽鑑賞を…と、音に対するこだわりとレコードに執着を持っている。昭和20年代に遡ることになるが、テレビなど未だ普及していなかった頃、NHKラジオ「S盤アワー」という番組があった。アナウンサーの柔らかく美しい声、巧みな言葉の曲の紹介に魅せられ、深夜族にはとてもいやされる番組であった。クラシック、洋楽、映画音楽、新しいリズムのジャズ等、レコードによる音の世界は人気番組「S盤アワー」から広がっていった。

音楽機器も精巧になり、蓄音機からオーディオへ、レコードがカセットテープ・CD、光ファイバーと替わってしまった。昔のインテリア風の蓄音機、ポータブル蓄音機などとてもなつかしい。当時LPレコードは現在に比べると高価であった。それでも新譜が発売されると楽器店で買い求め、友人と貸し借りし合ったり情報交換をしたりした。（当時はコピーとかダビングなど出来なかった。）その後レコードの行方はどうなったか。大切に保管されているか、放置されたままなのか気になっていた。再生出来るかいいな。聴けたらいいな。在り時のままに音が出るかな。少しずつ期待感が膨らんでゆく中で“やってみよう”と決心する。

時代の流れでレコードプレーヤーの調達はできるのかどうか不安もあった。いきいき会がアオッサから駅前よろず茶屋に拠点を移すことになり、平成27年4月オープン、運営委員会に回りオーディオに詳しい吉岡氏のご尽力により音響設備が整い、いきいき会「音楽鑑賞会」として発足することができた。

活動の方法

あくまでもレコード盤による鑑賞会であるが、参加される方ご持参のレコード、CDなどジャンルを問わずに聞いている。会員の皆さんで楽しむ音の世界、紡がれるたて糸、よこ糸一緒に紡ぎながら、ぬくもりを味わって頂きたい



との願いもあって、このサークルを立ち上げさせていただいた。

開催場所は、福井駅前よろず茶屋の通称音楽室である。LP及びSPレコード、CD、レザディスク、磁気テープの音源を再生できるようにしてある。左上は、そこで音楽を鑑賞しているところ、左下は、参加者の写真を示す。

実施結果の概要

平成27年4月28日（火）に、19名の参加者





を得て第1回の音楽鑑賞会を開いてから、平成28年3月末まで、12回の会を開催することができた。

このうち、平成27年12月1日には、29名の参加者を得て、「音楽鑑賞会クリスマス集い」を、よろず茶屋で盛大に開催した。午前11時半から、ビバルディーの「四季」の中から「冬」、サラサーテの「ツゴイネルワイゼン」、中島みゆきの「雪」などのCDを鑑賞、レーザーディスクで、もみじ、ふるさとを全員で合唱した。

12時半からは、福井会長の音頭で、ワインで乾杯、おいしい弁当をいただきながら、歓談した。1時半には、サンタクロースに変身した向川さんの登場で、お楽しみ抽選会を行い、2時

からは、カラオケうた会のメンバーによるカラオケタイムもあり、ほろ酔い気分で、クリスマス集いの楽しんだ（写真参照）。

また左下の図は、毎月の音楽鑑賞会で参加者に配布されるプログラム（例）を示す。世話役の一人、酒井さんが、主宰者の小林さんと相談し、また主な参加者からの楽曲の提供も受けて、クラシック、映画音楽、軽音楽などのバランスを考えたプログラムを作成している。

参加者の声 増永 一夫

オーディオから流れ出る胸を打つようなロマンチックな曲、激しい怒りを感じるような曲、

優雅で心暖かくなる曲それぞれ目に浮かんできます。音楽と一緒にいる時間の早いこと。すべてを忘れて音楽に集中できる心のゆとり、歌を唄う時のチャレンジャーとは全く違うボリウム感、皆さんと一緒しながら聴ける音楽、心から酔いしれます。あらたな発見がありそうなドラマチックさに背中を押されるような感覚！。ますます音楽や歌が好きになりました。音楽は一生の支えです。

酒井 慎夫

私は日本コロムビア（株）創立八十周年記念に発売したホーム・クラシックCD七五巻を所持している関係上、皆さんにも聴いていただい

平成28年（2016）

4月度 音楽鑑賞会目次

（第13回）

よろずホールにて

4月26日（火） 午後1時～3時

ストラヴィンスキー (1882-1975)	「春の祭典」 第一部 大地礼賛 No: 60-1	10'
	原始主義の典型であると共に第一次産業革命の衝撃を同時に表現したものだと感じられるべきだが、世界第一次大戦の勃発による不協和音が重なりあって当初は不評だったが歴史的作品と言える。映画音楽誕生の先駆とも言える	
ドビュッシー (1862-1918)	ベルガマスク組曲第3曲 「月の光」 No: 55-9	4' 20"
	モネの絵画でル・アーブル港の「印象日の出」に端を発した印象主義音楽で海岸線の波の音が聞こえてくるようです	
ショパン (1810-1849)	エチュード（練習曲） 作品10-6	4'
	ノクターン（夜想曲） 第2番	4' 50"
	フジコ・ヘミングのピアノ演奏が有名です	
ドヴォルザーク (1841-1904)	交響曲第9番「新世界より」 第2部 No: 20-4	10'
	故郷ボヘミアから、新設のニューヨーク国民音楽院の院長として招かれ、総勢家族や友人とともに滞在中に作曲したもので、雄大なアメリカを象徴している	
アンディ ウィリアムス集 (1938-2012)	1. ムーンリバー 2. イエスタデイ	8'
アル ハート (1922-1999)	「グランプリアルバム」の中から（トランペット） 「スターダスト」 「アル・ディ・ラ」 「枯葉」 など	12'
フリオ・イグレスias集 (1943-)	「黒い瞳のナタリー」 「ビギン・ザ・ビギン」	9'
杉本 竜一	「ピリーヴ」 （オルゴール演奏）	4'
さだ まさし	「虹の章」の中から	10'
五木 ひろし	「九頭竜川」	4'
三山 ひろし	「四万十川」	4'
その他		

の方がよいと考え、入会しました。音楽のジャンルなら何でもありと言うことですので、お互いに楽しみ合えると思います。

富士 佑子

音楽を聴くことが大好きです。レコードを聴く会を立ち上げて下さり大感謝です。我が家にも昔プレーヤーあったのですが、いつのまにか無くなり、レコードはもう聴けないと無意識にあきらめておりました。この会ではいろんなジャンルの曲を聴けて楽しいです。自分だけではどうしても好みが偏りがちになってしましますし…。月二回あってもよいのでは。

木下 みき

月一回の音楽鑑賞会は私の心をなごませてくれます。小林先生、その他の人のおかげです。昔の思い出がなつかしく音楽によってよみがえって来て、人生とは…が今になって分かってくるようです。いきいき会の人は皆んないい人ばかりで幸せです。

宮崎 照栄

「音楽鑑賞会」は、私が住んでいるアパートではレコードの音量にいつも遠慮しているだけに、楽しみにしています。

浅野 幸子

音楽鑑賞会もステキな時間です。生活、年齢を忘れてゆったりと過ごせるひとときです。小林先生はいつも前向きで感じよく受け入れていただき感謝しています。

澤崎 和子

在宅看護の仕事を生きがいに関わってきたためか体中痛む病気にかかり、半年入院したのを期に余生を自分の趣味やゆとりある生活を目指していきいき会に入会し、音楽鑑賞会ではすばらしい音楽を聴き、人とのコミュニケーションが気持ちを明るくしてくれます。

世話役の言葉

小林 久子

NHK・FMラジオ「深夜宅急便」を聴いていると、二十年代NHKラジオ「S盤アワー」という番組を思い出す。友達と映画音楽を語り合い、映画音楽LP盤を交換するのがとても楽しかった（ダビングなどできない時代）。大切に残しておいたレコードを誰か「と一緒に聴きたい」そんな思いが高じて、レコードによる音楽鑑賞会をいきいき会に図り実現した。音響界の進化により聴き方も変化したが、それでもレコードのノイズのなつかしさに心を込めて音楽を鑑賞している。

酒井 慎夫

「音楽鑑賞会」が発足して早や1年以上が過ぎました。サークル会員のみなさん同士で音響機器を揃え、修理し、なかなかの響きがあります。曲目はCD、レーザーディスク、LP、カセットテープなどさまざまで、クラシック、映画音楽、世界のポピュラー、歌謡曲、Jポップ、演歌など手持ちのものも出し合って演奏してもらっています。が、なかなか楽しいものです。ご要望があれば、テクノポップ、オペラ組曲、長唄、俗曲、浪曲、詩吟、童謡、唱歌、民謡、宗教音楽などさまざまな音楽を試行するつもりです。ジャンルは問いません。

音楽は人間社会の進化とともに、宗教、政治、経済、実生活そのものに結びついて、生き永らえ、「わが心に音楽を!!」をスローガンとして、なにとぞ音楽鑑賞会に参入されますようお願いいたします。参加者が増えればコンサートの機器の改善ができると思いますので、どしどし参加してください



健康麻雀部会

部会長 福井 康人

幹事 折尾 敏和、林 豊二、

濱本 たけ子、福岡 友江、塩谷 庸子

設立の趣旨

「飲まず、吸わず、賭けず」の3条件を守って楽しむ健康麻雀は、高齢者の認知症防止にも効果があり、全国的に広がっています。

そういった麻雀を、いきいき会でもぜひやろうという声にこたえて、この部会を立ち上げました。いきいき会は、お金を使わないでいろいろな活動をしようという会長の方針があるので、会場探しに苦労しました。また、希望者の中には、麻雀が初めての人も多いので、ベテランがつきつきりで教えるという方針でスタートしました。

活動概要

スタート時には、会場探しに苦労しましたが、平成26年12月に福井駅の駅東にある元喫茶店で今のお店をやめている渋谷様の店内を無料で借りることができました。ここで、会員8名、麻雀卓一台だけでスタートしました。同年3月までに12回の麻雀会を行い、初心者も、ある程度麻雀を楽しめるレベルになりました。

福井いきいき会では、福井市から、よろず茶屋開設の補助金をいただけることになったため、福井駅前のエコライフプラザビルの5階にある空き室を、お借りできることになり、リフ

ォームを終えた平成27年4月から、麻雀卓を4卓そろえて、本格的に活動を始めました。駅前よろず茶屋の部会としては、

① 家賃のうち1万5千円を麻雀部会で負担する。

② そのため麻雀部会の会費は1人当たり月額1千円とする。

限月	回数	会員数		限月	回数	会員数	
4月	10回	33名		10月	12回	25名	
5月	9回	28名		11月	11回	22名	
6月	10回	26名		12月	12回	26名	
7月	13回	25名		1月	12回	28名	
8月	13回	26名		2月	13回	30名	
9月	13回	24名		3月	14回	25名	
合計	27年度1年間実施回数			142回	会員数 延318名		
月平均	回数	11.8回		会員数	26.5名		

③ 少なくとも月20名以上の会員に参加頂くこと等の条件を必達べく再スタートしました。

④ 部会長には福井会長。幹事に男性は折尾、林、女性には濱本、福岡、塩谷以上6名を選出しました。

活動実績

平成27年4月から、平成28年3月までの麻雀部会の月ごとの開催回数と会員数の推移を表に示します。一年間で延べ会員数は、318名になっています。

麻雀部会では、会員が楽しみながら、懇親を深めるため、次のようなイベントを行いました。

1. 新年会にジャンケンゲームを提案

平成28年2月に開催されました福井いきいき会の新年会に麻雀部会から10数名が参加し、塩谷幹事の指導のもと会場の皆様にジャンケンゲームを楽しんで頂き、その勝者に賞品を贈呈しました。

2. 忘年会の開催

平成27年12月28日(月)に会員22名参加のもと麻雀部会の忘年会を開催しました。

その席上、まず、麻雀会の運営についての意見交換も行うとともに、12月末時点の会計報告も行い、終了後麻雀を楽しみました。

3. 成績表



参加回数表の作成と、次に示す上位5名の表彰を行いました。

成績順

- ①谷村忠幸、②味寺信一郎、③柴田修、④吉村隆、⑤林豊二

回数順

- ①塩谷庸子、②谷村忠幸、

③味寺信一郎、④柴田修⑤林豊二
役満賞 その都度お渡しする。

なお、今後6ヶ月毎に上記両部門の表彰を行うことにしました。

麻雀大会を実施

麻雀部会は、発足後1年半を経過し会員も増え、皆さまが楽しめる会として順調に展開しています。この度、会員同士の親睦を図ると共に日頃の技を競うため下記要領で食事会を兼ねた麻雀大会を実施しました。

開催日…平成28年7月4日(月)

午前11時～午後5時

場所

エコプラザビル4階駅前よろず茶屋

参加者 下記22名(男性13名、女性9名)

弁当 芝寿しの2段重ねのお寿司セット

次第

(1) 福井会長の開会の挨拶

(2) 折尾幹事より

(イ) 会員名簿替わりの会費入金表の配布と説明

(ロ) 4～6月の麻雀会の経過報告書の配布と収支報告書の説明

(3) 最年長(91歳)である林幹事の乾杯で開宴する。

(4) 中西会員より下記意見があり

(イ) 部屋ノゴミの処理について

(ロ) 飲物のカップの後処理

(ハ) 麻雀ルールを厳しく徹底する

(ニ) 特別賞(役満)の設定

福井会長より会として今後の対処方針の回答あり。

答あり。

麻雀競技結果(4卓で各3回戦をする)

参加者22名でクジをし、結果福井、折尾、味寺、林、吉村、田中の6名が進行係となり、残る16名で対戦することになった。

その戦績は下記の通り

結果、ダントツで今本さんがトップ賞獲得する。成績上位者順に賞品を授与する。

尚、全員に参加賞を配り午後5時に終了する。

回戦	卓	1位	2位	3位	4位
1回戦	1、	福岡	谷村	竹内	駒屋
	2、	吉田	橋本	中西	足利
	3、	今本	小林	佐々木	柴田
	4、	荒川	橋詰	塩谷	池田
2回戦	1、	柴田	足利	駒屋	池田
	2、	今本	福岡	吉田	荒川
	3、	竹内	塩谷	中西	佐々木
	4、	小林	谷村	橋詰	橋本
3回戦	1、	橋本	荒川	池田	佐々木
	2、	谷村	足利	福岡	塩谷
	3、	今本	柴田	竹内	小林
	4、	橋詰	中西	吉田	駒屋

お礼

今回の催事に対し下記の方に物品をご寄贈頂きました。

お心遣いの程有難く厚く御礼申し上げます。福井会長 入賞者の賞品12点
林 幹事 お酒1本とオツマミ

年間の回顧と今後の方針

1. 毎月10回以上の麻雀会を実施出来、かつ各月20名以上の会員の方に参加頂き、お蔭で駅前よろず茶屋の中核部会としての地位を確保出来ました。(当初懸念していた参加会員数をクリアー出来ホットしています)
2. 参加されている会員の皆様が、本当に楽しそうに麻雀をされています。
3. 会の会計も健全に推移していて、今後いろんな企画を検討したいと考えています。
4. 会員の増加に対処し幹事を1名(味寺氏)増やし8名としました。
5. 今後新規会員が増えた場合は、麻雀台の増設を検討します。
6. 初心者を対象に午前中の開催も検討したいと思っています。

参加者の声

林 豊二

富山では20年位前から、メンバーが欠けて出来なかった麻雀が、福井へ来て毎日のように出来ることになるとは驚きでした。

勝負事では、麻雀ほど変化が多く、上りの手を作る楽しさがあり、又、相手の手を見破る苦労もあります。頭の体操として最適と考え、楽しんでいます。

味寺 信一郎

昨年5月の福井新聞のプリンでいきいき会の広告を見つけ、即会長に電話。その日の午後から麻雀サークルに入会させて頂いた。

友人が減っていく中、新しい人々と知り合い、極力参加させて頂き、楽しい毎日を送らせてもらっています。今後も一生勉強、一生感動、一生青春をモットーに、極力参加させて頂きたくです。また、他のサークルにも出来るだけ参加して、見聞を広めていきたい。

折尾 敏和

会員の多くの皆様が楽しんでいる様子を見し、幹事として喜んでいきます。ボケ防止には

麻雀が1番ですよ。

小林 博

麻雀とは人生そのものである。チャレンジ、反省、笑いと涙、ああ生きていてよかった。

竹内 敬三

飲まない、吸わない、賭けない麻雀に最高に楽しく参加でき、また、人間味のあるメンバーと一緒に参加させて頂きいただき感謝しています。

橋本 純一

知らない人とマージャンするのも楽しいし、色々な人と話ができることが良いと思います。

福岡 友江

セカンドライフとして、沢山回数があり、皆さんについていくのが大変ですが、やさしくリードして下さい方がおり1歩ずつ上達しているかしら！



懐かしい写真を楽しむ会

世話役 吉岡 芳夫

設立の趣旨

高齢の福井いきいき会の会員は、それぞれ長い人生の中で思い出に残る写真をお持ちである。それらを持ち寄って、みんなで楽しもうと考え、このサークルを立ち上げた。今は、プリントした写真を持ち込んでいただければ、その場で、デジカメでその写真を撮影し、プロジェクトでスクリーンに大き

く投影できる。

活動の方法

(1) 月1回、福井駅前よろず茶屋で行う。

(2) 参加者に、想い出の懐かしい写真を持参していただき。それらの写真を、デジカメで撮影し、パソコンに取り込んで、プロジェクトで、大きなスクリーンに投影する。それらの写真にまつわるお話をしてもらうとともに、当時のことを話し合う。

(3) 進行や運用は、世話役の吉岡氏が担当。

(4) 費用は、参加費100円。

活動実績(概要)

平成27年4月に開始してから、すでに12回開催した。各回の参加者数と、紹介された写真の概要は上の表のとおり。

本サークルを始めた時には、昔の福井の記念になる風景や建物、国体や復興博覧会、災害記録などの写真を持参してもらったが、主なものが出そろった後は、子供や若いころの本人や家族の写真、内外の旅行の写真なども紹介してもらっている。さらには、最近の福井いきいき会の旅行会や、新年会の写真や、ビデオ映像も鑑賞するようにしている。

海外旅行の写真は、写真にまつわる思い出話のほか、旅行地の歴史、人口、観光資源などインターネットで検索して調べたり、撮影地の地図をベースに、ストーリービューで現地に立ってみたいりするようになっている。

具体的な活動実績の紹介 第1回 平成27年4月10日



今回は第1回なので、世話役がこの会の趣旨を説明すると同時に福井の鳥瞰図や地図、福井地震の状況を写した写真や福井豪雪の写真、福井国体の写真など8枚をプ

ロジエクターで投影した。また、他の参加者が持参された子供の頃の写真や、東京オリンピックの写真、バスのチケットの写真、エジプト旅行で撮ったピラミッドの写真を投影して楽しんだ。

第2回 平成27年5月8日

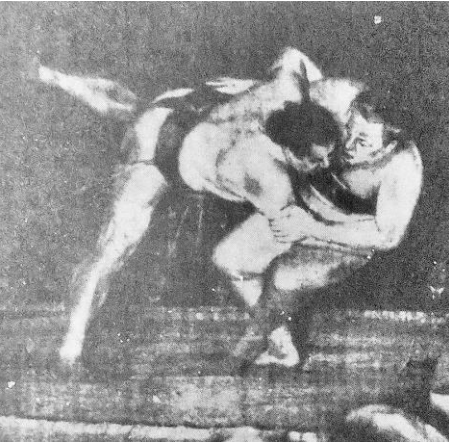
今回は、男性はメンコ、鉛筆キヤップのロケット、竹トンボ、スギ鉄砲、竹馬など、女性は、お手玉、あやとり、フラフープなど、昔の懐かしい遊びの写真を用意した。子供のころの遊びを懐かしく思い出して会話が弾んだ。その他、



参加者の中・高校時代の旧校舎や周りの風景の写真、**角帽をかぶった大学時代の写真**、三八豪雪や土砂崩れの写真など思い出深い写真をその場で、デジカメで撮影し、スクリーンに投影した。

第3回 平成27年6月3日

今回も昔の写真を中心に感慨深く鑑賞したが、地震や洪水などで、古い写真をなくしてしまっている方が多く、毎回多くを持ち寄ることとは困難と判断し、以降は古い写真に限らず、家族や旅行や行事などの写真も大いに歓迎することとした。



第4回 平成27年7月1日

今回は6名の参加者が、往年のスポート選手の名場面を堪能した。その中には、**双葉山の70連勝を阻んだ安芸ノ海との一番**、はだしのマラソン選手アベベの雄姿、長嶋選手の天覧試合でのサヨナラホームラン、東洋の魔女オリンピック女子バレー優勝など、思い出に残るスポーツの名場面を楽しんだ。

その他、超高電圧による珍しい放電の写真、会員が会社の写真展で入賞した作品、幸橋完成時に天皇陛下ご夫妻が来福された時の写真等々を楽しんだ。

第5回 平成27年8月5日

今回は、**会員が体験した19枚の登山の写真**、昔の能登半島輪島の朝市の写真、ガレリオ商店街が昔闇市だった写真、幸橋の大改築当時の写真、日米開戦当時の新聞など48枚の写真等を紹介した。

第7回 平成27年10月7日

今回は参加者7人がそれぞれ旅行した思い出深い写真を中心に紹介された。一人は、カナダ最東端に成功した**ニューファンドランド**の写真を紹介した。

上高地旅行、京都の東福寺の紅

葉の写真、家族の写真なども紹介



した。

第8回 平成27年11月4日

今回は会員が桂林を旅した時の写真のほか、ビデオで雄大な桂林の川下りも楽しんだ。別の会員が持参した中国を旅行した時の兵馬傭の中の写真、ワルシャワの市内の風景、中国の少数民族の生活を記録したDVDなどを楽しんだ。



第9回 平成27年12月22日

今回は、10名の参加で、先日実施したダンスパーティー、および音楽鑑賞会の忘年会の模様を写真



3人とも母乳育児

とビデオで紹介した。

次いで、会員が3人のお子さんを母乳だけで育てられたという当時の新聞記事の写真を見せてくださった。また、別の会員が、御主人が旅行された時のナイヤガラの写真を見せてくださった。

3番目は、更に別の会員のアイスランド旅行の写真で、オーロラと、間歇泉の写真が珍しかった。アイスランドは人口30万人。四国と九州を合わせた大きさだそう。火山の国なので温泉があり、ホテルの温泉(38度)に水着を着て入り、オーロラが出るのを待っていたそう。運よく、着いた日からオーロラが見られたとのこと。

第10回 平成28年1月6日

今回は、ある会員がご自分の結婚式で、お嫁さんがかなりな距離



を歩いて婚家へ向かわれる珍しい写真の紹介から始まった。

別の会員は、オーストラリアとニューカレドニアへ旅行された時のビデオを紹介され、現地の管楽器で奏でる音を聴いたり、ニューカレドニアの風景や浅瀬で泳ぐ熱帯魚の映像を見たりした。

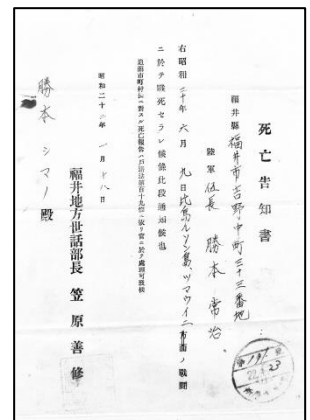
さらに別の会員は、カナダのバンフでの街の様子、カナディアンロッキーマウンテンの映像、氷河や湖、野牛のいるアルバータ国立公園の映像など、迫力のある映像を見ることが出来た。

第11回 平成28年2月3日

今回は、9名の参加で、最初にインターネットへアップロードされた福井いきいき会の紹介の動画を見た。ダンス教室の模様や、いきいき会の設立の趣旨を説明する福井会長の映像や、いきいき会のサークル活動を紹介する吉岡副会長の映像などを見ることが出来た。また、第3回の新年会の模様を撮影したビデオ映像も投影した。

今回の鑑賞では、会員のおじさんがフイリピンで戦死され、それを知らせる通知書を持つてこられた。小さな一枚の紙きれで戦死を知らせる当時の無常が感じられた。

別の会員はUSBメモリーで、20年前のタイ旅行時の写真を持ってこられた。タイの名所の写真を紹介されたが、その後で、現在のタイの街の様子をインターネットですべてスクリーンに投影した。



タイの現状は、観光客の行くところなどはきれいだが、裏へ行くとスラムのような場所が多かった。日本では、ほとんど見ることがなくなった風景で、この辺が日本との違いかと思われた。

他にも鑑賞した写真があるが割愛しておく。

第12回 平成28年3月2日

今回は、8名の参加であった。参加者の一人が小学校のご自分の卒業記念写真を、他の参加者は猫の写真を、また別の参加者は入社したころの寮生活の写真、その会社の所在地の写真、御自分の家の増築中の写真、子供の写真、そのほか、出身大学から博士号をもらったときの授与式の写真などあった。

以上のように、今回も写真を楽しむ会は、楽しく終わることが出来た。

参加者の声

濱田 芳雄

顔がよく見えない古い写真が、はつきりと当時の時代に逆戻りし、

懐かしい思い出を味わうことが出来ました。ありがとうございました。

増永 一夫

知らず知らず過ぎ去る日々、以前に撮った家族の思い出写真、旅行先での写真、昔のアルバム、今ではほとんど見失いましたが、「あの時代はよかったな」と写真に語りかけることもありましたよね。皆さんの写真をスクリーンで見るともいいものです。華やかな写真もあれば哀愁ものに至るまで、身を持ち出して見つめる写真。「場」も明るい雰囲気に変身、地図で眺める各国の風景にも目が離せませんね。私が旅した中国や台湾、もう一度写真で旅してみたいです。

世話役の言葉

吉岡 芳夫

デジカメが発達し、明るいプロジェクターも自由に使える時代になっている。参加者が持つてこら

れる写真は、その場でデジカメで撮影してパソコンに取り込み、プロジェクターで大きく投影して楽しめる。時には、インターネットに接続して、写真にまつわる土地の情報や写真も見ることができる。これまでに持ち寄られた写真には、貴重なものも多く、会話も弾んで楽しい会になっている。

DVDの映像も楽しめるので、多くの会員の参加をお待ちしている。



手芸の会

世話役 奥島 ヨシ子

設立の趣意

女性を中心とした活動として日常的に楽しみ、更に健康の為に頭や目、手先などを使って作れる手芸（ビーズとかレザークラフト）、また若い時に使った衣服に若干手を加えることで再利用できる喜び、また、自分の手づくりの物を思い出の衣服に身に着けられる楽しみ、さらに子供や孫、或いは友人などに使ってもらえる喜びなど、一石二鳥の効果が見込まれると思います。手芸の会のサークルとして設立いたしました。

「手芸の会」を立ち上げるまでの経緯

このサークルの発端は、年老いて次第に身体が衰えて行く中、少しでも体力を保持できるように、また転倒を防止できるようにとの意図も含めて「ヨガ」と、手芸を同時に立ち上げました。

ヨガは福井在住で、二十五年のキャリアを持ち、会員一人ひとりに、年齢に応じて丁寧に教えてくださる荒井美枝子先生に講師をお願いしました。平成二十七年の五月には九人、六月には四人の参加者を得てスタートしたのです

が、練習に必要な条件を満たす活動場所が得られず、残念ながら一旦取りやめることにしました。「手芸の会」で再スタートしました。

活動内容

活動内容については①、手芸 ・ 針金を使う



ての手づくりの飾り物作り ・ 日本の伝統手芸である絹糸を使った手まり作り ・ かつて使った衣服などの再利用など。②、レザークラフト。の二分野で活動することになりました。

① については、初めのうちは、指導をショッピングベルのビーズ屋さんの 福田祥子さんに依頼しました。場所は、初めはよろず茶屋で 途中から奥島宅に変更しました
② のレザークラフトについては、東京レザー





クラフト講師認定を受けた奥島が講師を務めさせて頂いておりますが、高度な技術を必要とするので、一つの作品作りにも二、三回に分けて取り組むようにしています。木槌でたたいたり、色を塗ったり、レースでかかったりと、出来上がるまでにはかな



活動実績
具体的な活動実績は以下の通りです。
活動実績と大手を振って言えるものは今のところありませんが、それでもビーズの場合、洋服にピッタリと言えるものを二個も作った

りな手や暇がかりますが、いったん出来上がると購入した商品と変わらないものに出来上がります。



人、ネックレスをお孫さんに作ってあげて喜ばれたり、自分のアクセサリとして満面に笑みを浮かべて使用したりしている人など、参加者それぞれが満足して活動に励んでいます。制作

したものは、以下の通りです。

二十七年 度

- ・ 六月二四日 ネットクレス
- ・ 七月一五日 簡単なブレスレット
- ・ 八月一九日 ネットクレス
- ・ 九月一六日 指輪
- ・ 十月一四日 ジュタロール
- ・ 十一月一八日 ブレスレット
- ・ 十二月一六日 クリスマスツリー

二十八 年度

- ・ 一月二十日 亀のキーホルダー及び
レザークラフト
- ・ 二月一七日 メガネのつりさげ金具
及びレザークラフト
- ・ 三月一八日 置き物入れボックス
(ビーズで飾る)
及びレザークラフト
- ・ 五月一八日 高度なネットクレス
及びレザークラフト
- ・ 六月一五日 ショルダーにつける
アクセサリー
及びレザークラフト

世話役の言葉

奥島 ヨシ子

ビーズの作品の時は、細かい作業だったので、老眼の人にも気長に続けられるよう時間と余裕が必要だと感じました。でも作品が出来上がるととても喜ばれました。

福田 祥子

毎回どんなものを作ると喜んでいただけるのかを考えるのはとても楽しいし、ビーズは初めてとおっしゃる方も、作品が出来上がると、とても喜んでいただけます。

参加者の声

M・Hさん

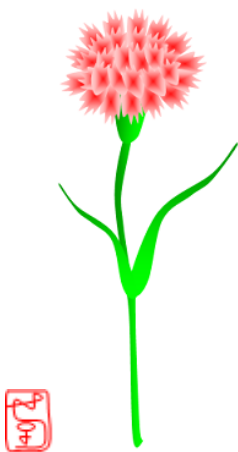
初めて挑戦したビーズ。とても楽しく、又、出来上がったネットクレスはこの夏自慢げに毎日つけています。また、初めて挑戦した皮工芸にはいろいろな工程のあるのに驚きました。出来上がった作品は世界にたった一つの物。とても可愛いく、一生大切にするつもりです。

K・Tさん

老眼には、ビーズの穴は小さすぎて大変ですが、それなりに楽しんで頑張っています。

R・Iさん

レザークラフトについては、つくってみて初めて分かること、教えられることが沢山ありました。たとえば、小銭入れ一つにしても、何回も手にかかり、材料や色の選別、使用する器具の選択、幾つもの工程を経なければ出来上がらないことなどを学ばせてもらいました。とても自分一人では作れないし、たとえ作れても相当な費用がかかることも分かりましたし、店で売られている革細工の値が張ることも理解できました。



習字教室

世話役 村上 碩子

設立の趣意

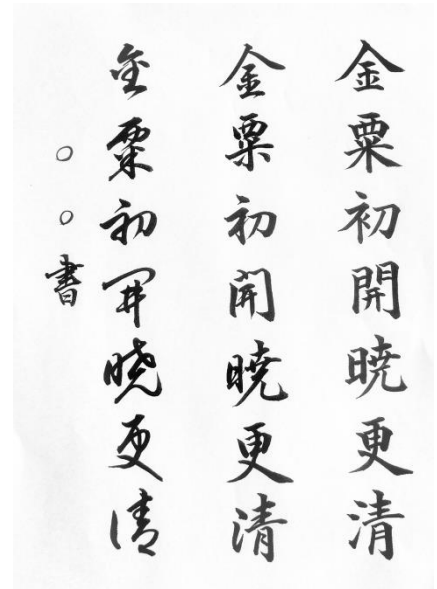
今はパソコンの時代、筆を持つ事も少なくなりました。でもひととき机に向かい、小学生の頃の習字の時間を思い出すのも懐かしいものです。

習字と言っても、細字や写経、かななど多岐にわたり、それらを多少なりとも使いこなせるようになれば、文筆活動も豊かになります。事実筆で書いた手紙をもらうと、なんとなく心が和むのではないでしょうか。また、教室での活動中は世間話に花が咲いたり、笑いも出たりして楽しいものです。日常の生活に潤いが出るというものでしょう。残りの人生をいきいきと過ごす助けになるものと思います。

講座の中に習字教室を入れて頂いたことはうれしく思っています。

活動の概要

書道の指導者は、毎回、以下の写真で示すようなお手本を用意し、筆の持ち方や書く姿勢なども指導しています。最初は手紙や謝礼、お祝いなどの小さな文字の練習から始めましたが、



回数を重ねるうちに、少し大きい文字、楷書、行書、草書なども取り上げています。写経については、お手本をなぞる形で書いています。

参加者の声

池田 淳子

「傘寿の手習い」。高齢になり、稽古事を止めていました。余生をどの様に過ごそうかと考えていた折に、友人からいきいき会のお誘いを頂き、入会して半年が過ぎました。近頃は年賀状の印刷を、冠婚葬祭の金封も筆ペンで済ませ、筆で書く機会が無くなっていましたので、筆を持つと何故か気持ちの凛として背筋が伸びます。村上先生の丁寧な指導で久し振りに筆を持ちました。教室の皆様の雰囲気も和やかで楽しく、休憩時間も和気藹々と話に花が咲き、有意義な時間を過ごさせて頂いております。

濱本 たけ子

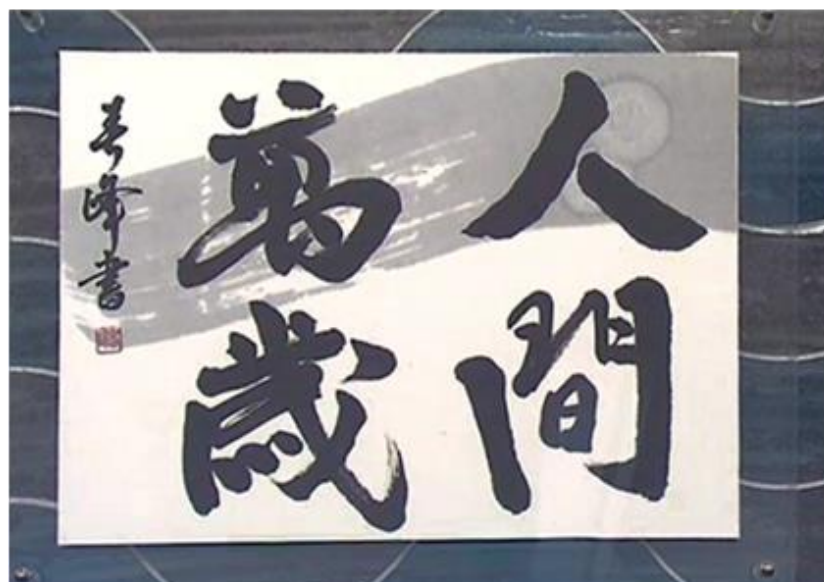
70歳の手習いで、月1回の習字を心待ちにしています。いさら筆を持つて練習しても、上手になりませんが、強制的でなく、伸び伸びと自由に練習できます。皆が集中して取り組む静寂な時が心落ち着きます。2時間の練習が短く感じられますが、満足して帰ることが出来ます。

世話役の声

村上 碩子

習字教室を担当している村上です。書道もいろいろ種類があり、小字、中字、大字、かな、隸書などあります。教室では、お祝いの包み、謝礼、お寺用包み、また写経など書いています。写経を書かれる方

が、何人もいらつしやるのに驚きました。家で書いて直してくださいと言われる方もいます。男の方も見え、大歓迎です。会話の中で、思わぬ出会いもあり、楽しい時間です。また、県立美術館で、ときどき展覧会もあります。皆さんとご一緒に見に行くのもよいかと思っています。



川柳同好会

世話役 吉岡 芳夫

設立の趣旨

人生には笑いが必要。川柳は、読めば思わず共感大笑い、ほっとする、わかるわかるその気持ちなど、人生の機微を表す手段でもある。五―七―五という文字数の制約の中でいかに共感を呼ぶ情況を表現するかは、よい頭の体操になるとともに、相互批評や優秀句の選定への参加は、よい川柳を作るための刺激にもなる。また、各所で発表される川柳も良い句を作るための研究材料にする。楽しみいっぱい川柳同好会は、一生勉強、一生感動、一生青春の福井いきいき会のモットーに合致する活動である。

活動の方法

月1回の例会を開いている。内容は、
(一) 発表する川柳を持参、あるいはあらかじめ世話役に送付しておく、パソコン(パワーポイントを利用)に入力し、当日は、プロジェクトでスクリーンに投影する方法で、個人ごとに、作成してきた川柳を紹介し、鑑賞、批評しあって、その中で特に良いと思われる句を挙手などで選ぶ。参加者が多く、選んだ句も多きには、個人別に選んだ優秀句の中から、無記名投票で最優秀句を3ないし5句選定する。これらの選ばれた句は、福井いきいき会の毎月の例会で紹介する。

(二) 川柳研究として、新聞に載っている暮ら

しの川柳、還暦川柳という書籍の中の句、サラリーマン川柳の句などを適宜紹介し、本同好会の作品と比較研究する。時には、それらの句の上の句や下の句を隠して、どのような言葉であったかを当てるようなゲームも行っている。
(三) 良い川柳について、言葉だけではなく、その句にふさわしい写真を添えた写真川柳も作っている。

活動実績

本川柳同好会は、全国老人福祉施設協議会が募集する「60歳からの主張」の川柳部門に、福井いきいき会からまとめて投稿したのが、始まりといえる。これまでに、平成25年度は、川柳83句、平成26年度は173句、平成27年度は150句を応募した。残念ながら、応募総数約5000句から選ばれる10句には選ばれなかったが、平成25年度は、還暦川柳という書籍に2句、平成26年度も1句が掲載された。活発な句の応募が評価されて、平成27年1月には、NHKのクローズアップ現代の取材をうけ、川柳を披露しあう場面が放送された。その後、すでにサークル活動が始まっていた読書会の中で川柳の発表を行ったが、平成27年4月に福井駅前よろず茶屋が開設されたのを機に、毎月例会を持つ本川柳同好会が正式に発足した。
第1回から、第12回までの川柳同好会の参加者数と、発表された川柳の数を以下にまとめて示した。

川柳同好会の参加者数値、発表された川柳の数			
回	参加者数	発表された川柳の数	選定された優秀句の数
1	9	60	8
2	6	54	7
3	10	55	8
4	12	98	13
5	12	86	14
6	10	55	13
7	5	56	8
8	10	54	9
9	11	76	9
10	10	56	10
11	9	63	9
12	5	61	9

川柳作品の紹介

まず、還暦川柳に掲載された本同好会会員の句を、次に、例会ごとに選出した個人別の優秀句を紹介する。

〈還暦川柳の掲載句〉

平成25年度
素晴らしい ドレス身に着け 歌忘れ

有田つぐ子

コーラスで 鍛えた声で 叱る妻

吉岡 芳夫

平成26年度

亡き友に 迎えに来るなど 手を合わす

折尾 和敏

〈各例会での優秀句〉

第1回

平成27年4月23日(土)

さうそうと勝負服着て デイホーム
春一番 吹かれて行こう 人生も
眼がさめて 胸の鼓動を 確かめる
同窓会 好きだった人を まず探す
赤い月 こころまどわし にくいわね
老い二人 三寒四温 春こたつ
退職し 即座に嫁に ボケナイデ
午後8時 電話すれど どこも出ず
(小林)
(中野)
(瀧田)
(吉岡)
(米沢)
(山崎)
(笠原小夜子)
(奥島)

第2回

平成27年5月16日(土)

墓参り また来たわよと 語りかけ
知られずに 一人カラオケ 腕磨き
秘すること そと花に 告げてみる
独り身は 咲いた花とで 二人づれ
超悔しい スマホパソコン 孫に負け
今日こそは 元気でいようと 繰り返す
老脳に 時移りても 古い地図
(笠原小)
(吉岡)
(小林)
(瀧田)
(中野)
(福井)
(小谷)

第3回

平成27年6月3日(土)

逝ったから 言える貴方は 日本一
思案する 古き写真の 捨てどころ
好きですと 言えない気持ち バラ切手
定年後 やつと戻れる 趣味の道
(中野)
(笠原小)
(瀧田)
(小林)

ウオーキング 脚上げ手ぶり 身も軽く
検診で 脈拍踊り 結果待ち
三番も 聴きたくなるのは 上手いひと
東京の 五つ星より 駅の蕎麦
(増永)
(福井)
(吉岡)
(千葉)

第4回

平成27年7月11日(土)

知らんかった 今更遅い バラ切手
商品券 よりは諭吉か 一葉が
おいおいと 呼ばれ続けて 老い迎え
あじさいに 負けじと一輪 山吹の花
蓮の上 ころころ遊ぶ 玉の露
風呂上り つくづく眺める しわの数
瓜二つ 鏡の中に 母の笑み
誕生日 ロック吹いて 入歯飛び
バスの旅 ビーチクバーチク 老いすずめ
銭は 願いの中身で 札にする
うまそうな トマト値を見て もとへ置く
よい響き 昔は「ママ」で 今「ばあば」
じいちゃんが アイドルになる 老人会
(笠原小)
(加畑)
(笠原京)
(山崎)
(福井)
(小林)
(瀧田)
(増永)
(山口)
(吉岡)
(松島)
(西川)

第5回

平成27年8月22日(土)

夏祭り 北大赤フン 盛り上がる
ぬくもりが 心に残る 孫の声
音もなく 近づく老いに 伴なおう
孫帰り 金欠夫婦の 金疲れ
いきいき会 出欠速う 敬老会
コウノトリ 人気で泥鰌は 悲鳴あげ
夏まつり 津波のように どこにひく
(笠原小)
(松島)
(中野)
(西川)
(笠原京)
(加畑)
(福岡)

朝蜘蛛に 占いかけても ただの虫
おと鮎に 逃げられぼうず 明日こそ
幼名を 友に呼ばれて 若返り
老いの恋 と思っていたら 不整脈
よろず茶屋 ここが私の 指定席
盆が来て おしゃまになった 孫娘
街中で 氷水の 旗揮す
(瀧本)
(小林)
(瀧田)
(瀧田)
(増永)
(吉岡)
(吉岡)

第6回

平成27年9月19日(土)

生気を 取り戻そう 秋が来る
胸の音 女医の前では 高くなる
美人より 色気の方に 目が移る
幼な児の 泣いてる声が オヘラ調
寺参り 命日過ぎて ハツとする
割花火 消えてまた咲く 歳重にも
世話役は ボランティアだけ 楽しいよ
韓流の コーナーに少ない おじいちゃん
阿波・郡上 過ぎて八尾で 秋を知る
老い松に お酒たふり 元氣つけ
あの時も お酒の力を 借りたつけ
(中野)
(瀧田)
(瀧田)
(増永)
(福井)
(小林)
(吉岡)
(吉岡)
(田畑)
(笠原小)
(瀧本)

第7回

平成27年10月10日(土)

つまづいた 昔仕事で いま転倒
記念にと 大事にしたもの ごみになり
ごみの日に 悩み心も 捨てました
よろず茶屋 生甲斐見つける 出合いの場
バーベキュー 肉をめがけて 箸突進
バス旅行 はずむ会話も 眠り顔
(田畑)
(中野)
(瀧田)
(増永)
(松島)
(福井)

海王の ゆく手八の字 かもめ群れ
バスツアー 座席は好きな人の 横がいい
(小林)
(吉岡)

第8回

平成27年11月14日(土)

まっつてスマホ 歩いてスマホ 怪我するぞ
妻と俺 ボケ競争は 負けが勝ち
心配は 情報漏れより 尿の漏れ
孫抱いて 胸と胸とが 語り合おう
コウノトリ いい娘つれて 戻ってきて
ドローンには 伊賀の忍者も 舌を巻
あのおうち 夫婦犬猫 皆メタボ
落景踏み 見上げる山は 燃ゆる秋
古壺が 宝に化ける 鑑定団
(笠原京)
(吉岡)
(濱田)
(増永)
(小林)
(加畑)
(西川)
(濱本)
(竹内)

第9回

平成27年12月12日(土)

マイナンバー タンス預金が 復活し
大吉と 出たはずだった あのひと
これ買つて だからあんと 列行動
ファッション 老いも若きも スニーカー
ちよつとだけ 心のすき間 うめる恋
お正月 掃除機横に 雑煮餅
妻スマホ 俺はテレビで 会話をし
ちよつとした 添え書き嬉しい 年賀状
年老いて やつと火がつく 学び道
(加畑)
(中野)
(増永)
(笠原京)
(小林)
(濱田)
(村瀬)
(吉岡)
(笠原小)

第10回

平成28年1月16日(土)

お年玉 値上げ交渉 せがむ孫
(増永)

雪降らず 庭の松の木 縄の傘
シルバーが ジルバを踊つて 目を回す
延命の 菩薩いずこと 寺巡り
昼寝して 覚めて朝かと 飛び起きる
リーチかけ 待てど当たらぬ 捨てるバイ
一万歩 目標にして 家を出る
初春に 曾孫の誕生 夢多し
お年玉 小学・中学 列れ路
丸餅の 雑煮で 溶ける 三世代
(濱田)
(吉岡)
(加畑)
(小林)
(笠原京)
(竹内)
(笠原小)
(松島)
(中野)

第11回

平成28年2月13日(土)

手も足も 今じゃ出せぬが 口は出し
節分に 年の数だけ 無理ですよ
障子孔 きざみ色紙で 桜咲く
節分の 豆がかめずに 鬼笑う
乾杯で 丸テーブルに 花が咲き
凜と咲く 寒椿 励まされ
こちら晴れ 関東積雪 大逆転
酒入りの 試食チヨタべ 酔っぱらう
久しぶり 逢う人懐かし 路線バス
(加畑)
(中野)
(増永)
(笠原京)
(小林)
(濱田)
(吉岡)
(福井)
(竹内)

第12回

平成28年3月12日(土)

発車ベル 若い二人に もらい泣き
年賀状 添えた一言 微笑みが
気づいた時 してあげられる 温かさ
春が来た 心ウキウキ ファッション
麻雀は 振つてポンして 勘と運
LP盤 ノイズが残る わが青春
(中野)
(増永)
(笠原京)
(笠原小)
(小林)

国会は 口災いで 無駄時間
ついていけぬ スマホの進歩 止めてくれ
孫たちも 車と彼女 持ち始め
(濱田)
(福井)
(吉岡)

〈平成27年 年間最終秀句〉

記念にと 大事にしたもの ごみになり
心配は 情報漏れより 尿の漏れ
妻スマホ 俺はテレビで 会話をし
同窓会 好きだった人を まず探す
幼名を 友に呼ばれて 若返り
老い松に お酒たふり 元氣つけ
ちよつとだけ 心のすき間 うめる恋
(中野)
(濱田)
(村瀬)
(吉岡)
(濱田)
(笠原小)
(小林)

〈写真川柳〉

川柳に、写真を添えた「写真川柳」の例を
いくつか示した。

おと鮎に 逃げられぼうず

明日こそ



小林さん

盆が来て おしゃまになった 孫娘



吉岡 芳夫

夏祭り 北大赤フン

盛り上がる



笠原小夜子さん

孫帰り 金欠夫婦の 盆疲れ



西川さん

朝蜘蛛に 占いかけても

ただの虫



濱本さん

参加者の声

増永 一夫

最近、川柳がブームを呼んでいるようです。新聞や雑誌などでも話題の一つとして急激に取り上げられています。考えても思惑通りにいかないのが「川柳」で、自然の空気に触れあいながら、奇跡的に浮かんでくる文句、息づかず続けたいですね。忘れないためにも筆記用具は欠かせません。名文句の作品を見つけて、愉快に面白く楽しんで投稿したいと考えています。うまく出来上がった時の作品は、なんとなく気持ちちはずみずみ。川柳に出会えるとは全く思っていないかったです。

小林 久子

普段口にしらない心のつぶやきが遠慮がちに少しずつ表現をされる度ごとに、人柄の温かさ、ゆるやかさが見え愛しさが感じられる投句の中で、のぞき見とても楽しい。また、スクリーンに映し出された川柳を皆さんで同時に鑑賞できることは大変進歩的で「いきいき会川柳同好会」の自慢な処。柄井川柳氏曰く。うけなければ意味がない。笑いに奉仕する。メンタルがひねくれている。人間臭いがにじみ出ている。庶民の暮らしと反骨、そして、奥深い川柳ができる。

澤村 玲子

俳句か川柳か…？ 決め事を学んでも、いまだ詠んだ句に川柳といえる自信がない。きっちり知識のもとに句作している方に失礼なことを自責しているが…。

ただ、読む、書く、見る、歩く、食べる等の日常的な中にも、この同好会のお蔭で注意深くなり、ネタ探しに余念なく過ごしている。一句を試せる言葉と心の遊びが実に楽しい！。いつも稚拙な私の句にも、あれこれとご意見をいただけることへの感謝で、幸福感を味わっている。ライフワークのロングランレースにしたいと、意欲加速中。

吉田 美恵子

川柳は、思ったことをそのまま表現すればいいと言われる言葉を胸に出席させていただいておりますが、皆さまウィットにとんだ川柳に、私はだめだと劣等感に襲われながら、続けます。でも、言葉の使い方、疑問に思ったことは吉岡さんがその場でネットで調べてくださり、知らなかったことがわかる嬉しさ、とても勉強させていただいているので、頑張っ続けていたいと思っております。



読書会

世話役 吉岡 芳夫(第5回まで)

向川佐多男(第6回から)

設立の趣旨

最近とみに中、高校生など若い人の間で読書に親しむ機会が少なくなっていると聞きます。新聞等でもこのことが取り上げられ、活字離れと共に漢字力の貧弱さも指摘され出しています。

巷に溢れる情報の入手は活字を拾うよりイメージ、聴覚に頼る事の方が面倒くさくなく、しかも素早い認識が可能であり、スピード感、充足感を多く感じ得るのでしょうか。

しかし、そんなに慌てる必要はどこにあるのでしょうか？ ゆつたりの気分で本を読み、時に主人公になり切つて読書に慣れ親しみ、また時にこの読書会で物を言い、互いに語り合う場に接してみても如何でしょうか？ これが設立の趣旨、本意です。

本でなくても、新聞を読んで互いの私見を述べ合う事で、人としての自分、そして関係ある他人とを互いに見詰め、思いやり、理解し合う事は、実に素晴らしいことだと考えます。核家族化で団欒の場を失いつつある昨今を嘆かずにはいられないのです。一生勉強、一生感動、一生青春の実現を、老若何女を問わずこのサークルを通して実現させて行きたいものです。

活動の方法

月1回、場所(福井駅前よろず茶屋)でサークル活動を行っています。

活動方法は、現在司会、進行等は向川が担当していますが、その都度交代もよいのでは と思っています。参加者全員の参加型サークルです。読者が読書からの感想、私見を述べ、これらについて読者を含めての参加者が討論型で考え、意見を積極的に論じ合っています。

尚、2016年6月次より、福井市立図書館との間で1ヶ月間100冊までの本の貸出を受けることのできる団体貸付属制度を利用させて頂くようになっていきます。これにより、好きな作家の読みたい本等のご要望により、長期間に亘つての貸出が可能となる仕組みがつけられました。是非新しく読書会へのご参加を希望します。

回	参加者数	一人当たり	発表者数
	(人)	読書本冊数	
1	14	2	8
2	7	3	5
3	9	1	6
4	9	2	7
5	9	2	7
6	10	1	6
7	10	1	6
8	10	3	7
9	7	1	5
10	10	2	6
11	8	1	4
12	13	3	7
13	7	2	3

活動実績(概要)

月1度の開催ですが、現在 都度10〜13名の参加となっています。小説、雑誌、新聞、等々広いジャンルの中から感動、感銘を受けたものを読んだ人から意見発表をして頂きます。この意見、感想に対し、参加者全員の一人ひとりが具申、お一人、お一人の人生を楽しく、豊かなものに創り上げていきます。

具体的な活動実績の紹介

具体的な活動状況として、開催ことに残している実施報告書のいくつかの例を示しておく。

第1回読書会

日時…平成27年1月21日(水)

場所…アオッサ705会議室

出席者…14名

(1) 第1回の読書会であった。最初に、世話役から読書会の進め方や楽しみ方について簡単に話してもらい、参加者には、参加の理由や最近の読書事情などを紹介してもらった。次いでもう一人の世話役さんから、ある小学校で行っているボランティア活動の一環として、皆さんに本会で新聞記事などを読んだ感想文や討論した結果などを書いてもらい、小学生の教育の参考資料にさせてほしいと発言があった。新聞のNIE (News Paper in Education) 欄と関係の深い話である。

(2) 読書会本論では、各自が読んだ本や記事について、参加者が持参された資料を紹介し、

内容についての簡単な紹介があった。紹介された本は、以下のとおりである。

- * 「日本はなぜ、基地と原発を止められないのか」
- * 「日本の戦争と平和」
- * 「永遠の「0」」
- * 「新旧約聖表」
- * 「生きる」
- * 「サラバ」
- * 「19年前の祈り」
- * 「虹色のさかな」
- * 「スカートの風」
- * 「続スカートの風」
- * 「日本はなぜ中国人と韓国人とこれほど違うのか」
- * 「日本、歴史力」を磨け」
- * 「永すぎた春」
- * 「孤舟」
- * 「白蓮れんれん」
- * 「原発はほんとうに危険か」
- * 「鈴のなる道」
- * 「陽のあたる坂道」
- * 「日本の神話」

(3) 読んだ人から簡単な説明の後、関連して、意見交換があった。参加者からは、最近本はあまり読んでいないが、この読書会で面白い本のことを聞きたいという意見が多かった。

(4) 今回は一参加者の厚意でコーヒーとケーキのサービスがあったが、次回からは、参加費300円を徴収して、飲み物を用意することにした。開催日については、参加者から午前中の要望があり、3月からは、最終水曜日の午後1時から開始することにした。

第2回読書会

日時…平成27年2月18日(水)
場所…アオツサ705会議室
出席者…15名
(1) 初めて参加された人のために、第1回の

読書会の様子が議事録を読む形で紹介された。

(2) 前回の読書会で紹介された本、「スカートの風」を読まれた会員が、読書感想文を紹介した。この本を読んだ他の会員も、韓国と日本の習慣の違いなどが書いてあって、面白い本だった感想を述べられた。この本をきっかけに、韓国や韓国社会と日本人や日本人社会との比較などに参加者から多くの話題が出され、話が盛り上がった。

話は、慰安婦問題や、戦争の話、戦争は絶対に嫌だとの認識の話にまで及び、一冊の本をもとに、広がりを持った会話や議論ができるという読書の楽しさが実感できるものとなった。

(3) メンバーから、「認知症10年後700万人」「よみがえる故郷」「テロリストが国家をつくる時」等々の題名の本を読んでいると紹介があったので、その詳細については、次回からの読書会で紹介していただく。

第4回読書会

開催日…2015年4月15日(水)
場所…駅前よろず茶屋
参加者…14名

今回は、4月1日に開設したばかりの福井いきいき会駅前よろず茶屋での初めての会合であった。

(1) 参加者が、読まれた「食品の裏側」「自己実現の時代の地域運動」「三陸大地震」「富豪が旅したプロバンス地方を旅して」「88の知恵」「白蓮恋々」「若き魂」などの本について簡単

な説明があった。

(2) 読書紹介後の議論

会長さんが、渡辺淳一の新聞小説「愛ふたたび」が、昨年読者のクレームを受けて途中で終了したことを取り上げ、このような小説を書く作者は、自分の経験をもとにしているのか、妻はどう思っているのか、と問題提起したのをきっかけに、人を愛することとは、不倫は悪いことか、離婚は特別ではなくなった、結婚しない若者が増えた、老いてからの結婚や同棲の是非、老後の夫婦関係の理想は？年を取ってからの一人暮らしは不安がある、など楽しい議論が交わされた。

第7回 読書会

開催日…2015年7月25日(土)
開催場所…駅前よろず茶屋
出席者…11名

今回紹介されたのは、「花火」「医事とことわざ」「治さなくてもよい認知症」「長生きして良かった事」「関東大震災」「日本よ 歴史力を磨け」「おかれた場所で咲きなさい」等の作品であった。

第8回 読書会

開催日 2015年8月29日
出席者…11名

今回取り上げられた作品は、①、芸人の先輩達、笑いを取るネタ作り、日頃の挑戦の記録を描いた「火花」、と、②、在宅介護で孫の悪戦苦闘ぶりが描かれた「スクラップ&ビルド」である。この本の紹介後、食事の摂りかた、健康維持の為の食材、便秘、家族、延命治療の拒絶等について討論が行われ、参加者全員で話は盛り上がりを見せた。その他に深谷敏雄著「日本国最後の帰還兵とその家族」や、東京裁判の南京大虐殺のウソ、慰安婦問題のウソ、原爆投下のウソなどを明るみにした「日本よ歴史を磨け」、田中康子著の「生きるヒント」などが紹介された。

さらに田中康子著「人世だましだまし」も紹介されたが、この本にもっと早くに出合いたかったと残念がる参加者もいた。最後に福井会長より、活発な議論の中で人生のすこしでも参考になれば素晴らしいとの講評でこの会は締めくくられた。

参加者の声

池田 英太

読書済みの本一冊一冊について、各自が説明するよりも、どの本でもよいから、影響を受けた章節について、読んだ人が内容を説明するか、輪読してはどうか。

無記名

今まで、読みたい本は図書館にて用立てしています。大体の場合は一気に読み切りますが、時に何日、何ヶ月経つても尚、読み切れない場合もあります。

読み切った本は自信を持ってお話し出来るし、またお話ししたいと思います。

この読書会で教えられる事は多いと思います。

また、会話が弾みアドリブ入りの人生論になる事が多く、実にこれが楽しい、一生勉強と思います。

世話役の言葉

向川 佐多男

本の筋書き、作者の意図等について、先ずは読者の視点からの思いが語られます。次に、読者のその思い、話の内容等を軸に同席する参加者、各人、各人から様々の思い、意見が飛び交わされてきます。時に、その本の中身から脱線し、全く本の内容、作者の意図、思い等とはかけ離れた別次元のところでは話が盛り上がり集約されてくる場合も多く、従って制限時間内での参加者全員の感想の聞き取りがしばしば難しい状況にもなっています。（発表者数の減少となりますが…）しかし読者、各参加者からの

意見の一つ一つが貴重で、なるほどと合点し、明日への励みになる事が多く、一生勉強、一生感動、一生青春の当会の意図するところを正に地で行くようで、真に感動的となります。本だけでなく、雑誌、新聞等からも今日の話題に関する私見発表も多く、各参加者による意見交換を通し参加者全員の学習にも大いに効果的となっています。



歴史を楽しむ会

世話役 井上 清一

設立の趣旨

年を重ねるとどうしてでしょうか、歴史に興味を持ち始めるようです。「福井の町はいっ頃できたのだろうか?」「自分が長く住んでいる町の地名はどこから来たのか?」。そして、「自分はどこから来たのか?」が知りたくなります。駅前よろず茶屋の開設で、自由に集まれる空間が手に入ったのをきっかけに、同好の士が集まり歴史を楽しむ会を作ろうという動きがでてきました。

活動の方法

月1回第2水曜日に、時間をいただいで会合を持っています。13時から約1時間半です。歴史の話を約1時間させていただいて、その後質問討論に30分をかけています。どんなに面白い話を聞いても、人間の集中力は60分が限度です。「もう少し、名残惜しい」という感じが残っている間に終わりたいと思っています。

活動実績

今までのテーマ名と簡単な内容を次に記します。

① 江戸時代の福井の町を歩こう

二百年前の地図を見ながら江戸時代の福井の町を頭の中で歩いてみました。福

井駅前に立つと湖のように広がっていた百閒堀が見えていました。ガレリアモールは、この百閒堀の水の上に建っています。北ノ庄城址は、江戸時代の松平氏の城の南の入り口、日向門付近にあります。城址の石垣は残念ながら、勝家の城跡ではないのです。続いて、福井城の正門桜御門や城の西に広がる町屋の片町のなごを歩いてみました。勝家が一乗谷から連れてきた商人たちが築いた一乗町、間口が広い店が並ぶ長者町、春嶽公も頭を下げたといわれる大金持ちが揃った米町などの跡が残っています。

② 福井空襲の真実

終戦の直前に福井はアメリカ軍の空襲を受けました。その時のB29のパイロットの顔が見えたとかの話を聞きましたが、そんなことはありません。彼らは3千7百メートルの上空から爆弾を落としています。たった50メートル離れたら人の顔は判別できません。あの米軍の無差別攻撃についてもつと知る必要があるように思えます。

福井空襲についてのアメリカ軍の記録を調べると、彼らの綿密な作戦行動がみえてきます。彼らがどうして福井を攻撃目標にしたのか。どの様に福井へ接近して来たかを調べてみました。

③ 大家家の血筋はつづかない

少子高齢化の波に襲われ、後継者不足を嘆く今日ですが、大家家も同じように後継者不足に悩んでいました。福井藩は二百五十年間で実子が藩主を継いだ割合はたったの30%しかありませんでした。後は外部から養子を迎えています。この問題は豊かになった時に起きる問題のようです。「最近の若い者は何をしているのか?」などと声高に叫んでも何にもならない深い問題が潜んでいるようです。

④ ポルトガル人宣教師が聞いた福井弁

福井に住んでいる福井人は日常使っている言葉になんとなく引け目を感じています。特に都会へ出かけたときに、感じるようです。そこで、四百年前に日本国内で編纂された日葡辞書を引いて、調べてみました。この日葡辞書には、当時の京都周辺で使われていた標準語が収録されています。その中に、福井弁だろうと思いついた言葉がたくさん見つかりました。「うら」、「ばんげ」、「ものごい」、「しえばい」などです。当時福井で話されていた言葉は、当時の標準語だったようです。福井にお住いの皆さん、自信を取り戻しましょう。

⑤ 一乗谷朝倉遺跡を楽しむ方法

朝倉遺跡というと、唐門、義景邸跡庭園、湯殿跡庭園、諏訪館跡庭園をご案内するのが定番ですが、今回は町人の町案内を試みました。紺屋（染物屋）跡にはたくさんの甕が埋められています。染料を入れておくもので、温度を一定に保つために20%ほど頭を出して後は地中に埋められています。また、寺院へ行く道筋には数珠屋がありました。この跡地からは、穴があげられた数珠の玉が発掘されています。医者（くすし）の邸宅跡も残っています。ここからは、当時の医学書も見つかっています。

⑥ 九十万両の借金をかえした男たち

資金の調達といえば由利公正の名前が出てきます。しかし、春嶽をリーダーとする返済実行チームが作られていたようです。藩主が率先して進める儉約、資金ねん出のための藩札の発行、生糸の増産、オランダへの販売など、福井藩のチームワークのおかげで90万両の借金を十年で返済しました。安倍内閣も見習ってほしいですね。

⑦ グリフィスが見た越前福井

福井藩は理化学教師グリフィスをアメリカから招きました。招くにあたって、異人館と呼ばれた住居の建設、通訳や料

理人の夫婦の雇用、護衛の武士の準備、外出用の馬とその世話役など、大変な費用が掛かりました。春嶽は、日本の安全保障には、まず国力増強が必要。そして、その実現には、科学教育がまず必要と考えたようです。昨年再建されたグリフィス館は、福井藩の教育への情熱の高さの象徴なのです。

⑧ 蓮如上人様のお通り

毎年四月になると、旧北陸道から「蓮如上人様のお通り！」という掛け声が聞こえてきます。この行列は三〇〇年続いています。北陸に根付いた浄土真宗の初期の頃の布教の様子をお話ししました。蓮如は、女性信者をターゲットにしたようです。「私は死んだら仏様になれますか？」との女性信者の質問に、蓮如は即座に自信に満ちた声で、「美しい仏になれる！」と答えたそうです。

蓮如の書いた「御文」と呼ばれる信者へ宛てた手紙もすごい威力を発揮しています。エネルギーシユな蓮如でも、同じ時間に何か所もの集会に出かけることは不可能です。しかし、手紙を何通も書いて若いイケメンの僧に持たせ、朗々と音楽の香りを漂わせながら読んで聞かせることによって、あたかも蓮如は同じ時間に何か所もの集会に出かけたよ

うな効果を上げたのです。信者たちの熱狂が見えてきませんか。

⑨ 越前王朝初代継体天皇

ある歴史学者は、継体天皇を越前王朝初代と説明しています。地元出身者が、日本の支配者になるのですから、痛快なお話です。富と力の源泉である鉄の製造や強大な軍隊を移動させる水路などについてお話ししました。

かつて一万円札の象徴であった聖徳太子の曾おじいさんが、継体天皇でありました。そして、現代の天皇家は、この継体天皇から始まっています。

当時鉄を支配するということは、武力と富の源泉を持つことでした。武器や農機具が、鉄で作られるようになった効果は絶大だったのです。硬い岩がいても簡単に割られました。銅で作られた刀など、いとも簡単に打ち破ることが出来ました。

⑩ 継体天皇と治水伝説

継体天皇といえば、暴れ川と言われた九頭竜川の治水工事です。この工事によって、水田が広がり、食糧の増産が可能になりました。徳川家康も江戸に流れ込んでいた利根川を、千葉県の銚子へ流すための付け替え工事をしています。継体天皇も九頭竜川の本流を鳴鹿から西へ

流すことによつて治水に成功したのではないのでしょうか。

⑪ 新説忠臣蔵

忠臣蔵といえば江戸時代のもっとも人気の高かった歌舞伎の演目の一つです。四十七士の活躍の裏に徳川幕府の陰の援助があったというお話です。幕府の目的は、吉良家お取り潰しにあったというお話です。

⑫ 福井藩を陰で支えた中根雪江

春嶽公は名君ではなくて明君であつたそうです。これは、歴史博物館の館長角鹿先生の主張です。11才で、福井藩主になられた春嶽の教育を担当したのが中根雪江です。春嶽の勉強カリキュラムには「会読」と呼ばれる複数の者が参加し、議論も戦わせるといふ斬新なものもあつたそうです。

⑬ 加賀一向一揆(講師小坂武士氏)

福井の語り部で大活躍の小坂氏に担当していただきました。小坂氏は現地主義を実践されておられます。とにかく現地へ自ら出かけられて調査をされる熱心さです。ですから、語られるお話に熱い熱い思いがこもっています。

参加者の声

宮崎 照栄

サークル活動に参加させていただき、いつも楽しく過ごさせていただいております。「歴史を楽しむ会」では、福井生まれですと福井に住んでいる私なのに、福井には有名な人が多くいらつしやることを知りませんでした。

酒井 慎夫

歴史を現在の視点で見直すことは非常に大事なことだと思います。新しい知識も共有する事が出来て、毎回楽しみにしています。

池田 英太

会合のリーダーは趣旨、議題、時間配分などを工夫して運営してください。発言は、要件を整理して短時間で発言するように努めよう。長々と自慢話などは好感が持てません。発言者ができるだけ短く要件を整理して発言をしてほしいものです。

濱田 芳雄

歴史の軌道をたどつて私たちは今ここにいます。歴史の事実を知ることが大切なことである。井上さんの分かりやすい、理解しやすいお話で歴史の事実を知ることができ、興味が持たれ勉強

強になっている。ありがとうございます

